

## 条件付き一般競争入札（事後審査方式）の公告

公告日	令和2年6月10日	
工事番号	教文第8号	
工種	建築	
工事名	東蟹谷公民館外壁等改修工事	
施工場所	小矢部市 藤森 地内	
工事完成期限	令和2年9月30日	
工事概要	建物概要：RC造、2階建、延べ床面積450.43m <sup>2</sup> 、最高高さ8.9m 外壁改修 S=326.0m <sup>2</sup> 軒天井改修 S=124.3m <sup>2</sup> 屋上底部防水改修 S=111.4m <sup>2</sup> 仮設足場 S=462.0m <sup>2</sup>	
予定価格	7,290,000 円(消費税及び地方消費税相当額を除く)	
低入札調査基準価格	設定有り 当該基準価格を下回る入札が行われた場合は、落札者の決定を保留し、後日、入札参加者に結果を通知する。	
入札参加資格	本店、支店又は 営業者の所在地	・小矢部市内に主たる営業所を有する者 ・準市内業者に認定された者
	等級又は総合評価 値	・平成31・令和2年度小矢部市建設工事入札参加資格者名簿の建築工事において、A等級、B等級又はC等級に登録されている者
	その他	・小矢部市条件付き一般競争入札実施要領第3条
入札方法	期間入札	
入札書の提出方法	持参又は郵送	
入札書の提出期間	令和2年6月15日 から 令和2年6月22日 まで 持参の場合の受付時間は市役所開庁日の8時30分～17時15分 郵送の場合は、期日内に指定郵便局必着	
入札書の提出先	総務部財政課	
開札日時	令和2年6月24日 9時33分	
開札場所	小矢部市役所 講堂（4階）	
入札保証金	免除	
契約保証金	納付必要（請負代金額が500万円以上の場合）	
積算内訳書	要（入札時に、入札書と同封して提出）	
入札の無効	小矢部市期間入札実施要領第7条による	
設計図書の配布	小矢部市ホームページ「事業者向け」―「入札案内・資格申請」に掲載する設計図書を、ダウンロードにより取得する。	
設計図書に対する質問期間	令和2年6月17日	
質問に対する回答期限	令和2年6月19日	

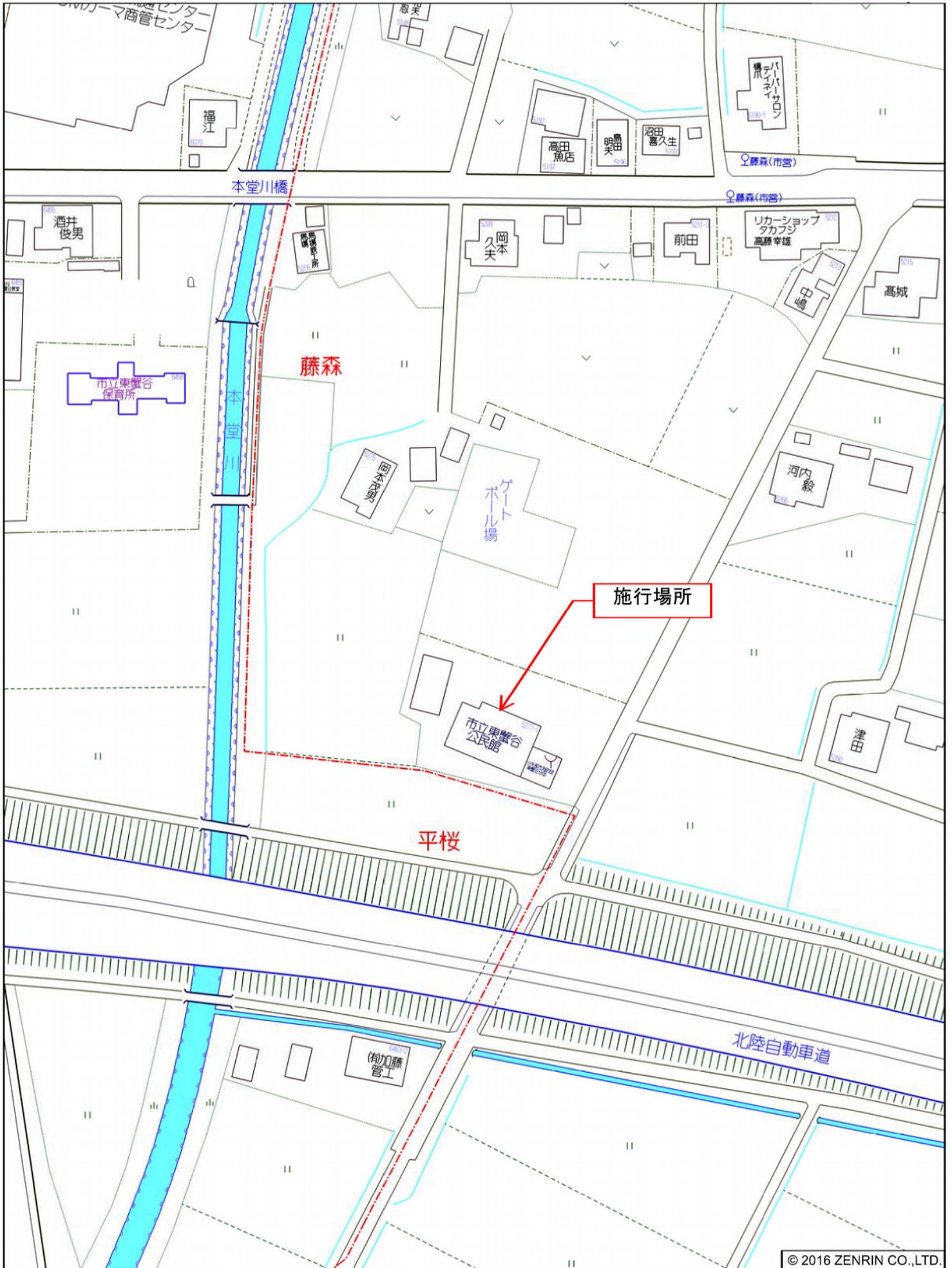
令和2年度

教文第8号

東蟹谷公民館外壁等改修工事

工事実施設計書

小矢部市









直接工事費内訳書

番号	名称	形式・仕様・寸法	数量	単位	単価	金額	備考
I	外壁改修工事	東面、西面、北面					
外壁	下地調査	報告書含む	326.0	m <sup>2</sup>			
	欠損部処理	鉄筋発錆部 欠損部	58.0	m <sup>2</sup>			
	クラック補修		58.0	m			
	高圧洗浄		326.0	m <sup>2</sup>			
	下地調整	ポリマーセメント	326.0	m <sup>2</sup>			
	アロンウォール防水吹付け	花壇 巾木含む	326.0	m <sup>2</sup>			
	サッシ廻りコーキング打替え		126.0	m			
	打継部コーキング打替え	ベントキャップ 廻り含む	40.0	m			
鉄骨部	D P 塗装	ケレン、錆止め含む	27.8	m <sup>2</sup>			
天井	既設ボード撤去	処分含む	46.5	m <sup>2</sup>			
	スパンドレル貼	GL鋼板 t0.4	46.5	m <sup>2</sup>			
	廻り縁	カー-G L 鋼板 t0.4	24.2	m			
	運搬 荷揚げ費		1.0	式			
	F G ボード再塗装	補修の上、E P-G	77.8	m <sup>2</sup>			
天井鉄骨部	D P 塗装	ケレン、錆止め含む	30.0	m <sup>2</sup>			
	小 計						

小矢部市

直接工事費内訳書

番号	名称	形式・仕様・寸法	数量	単位	単価	金額	備考
II	屋上底部防水改修工事						
	樹脂モルタル補修	庇上部	33.4	m <sup>2</sup>			
	ノロ引き	庇上部	33.4	m <sup>2</sup>			
	ウレタン塗膜防水		33.4	m <sup>2</sup>			
	高圧洗浄	壁 立上り部	19.0	m <sup>2</sup>			
	下地調整	ポリマーセメント	19.0	m <sup>2</sup>			
	アロンウォール防水吹付け		19.0	m <sup>2</sup>			
	上げ裏 リシン吹付け		59.0	m <sup>2</sup>			
	小 計						

小矢部市

直接工事費内訳書

番号	名称	形式・仕様・寸法	数量	単位	単価	金額	備考
Ⅲ	その他工事						
	玄関ポーチ ノンスリップ <sup>※</sup> タイル張替	撤去及び下地補修共	70.0	m			
	既存樋 撤去	処分含む φ75 L=3.0m	2.0	ヶ所			
	ステンレス堅樋取付	φ75 t=0.6mm L=3.0m	2.0	ヶ所			
	既設照明器具撤去	処分含む	8.0	台			
	LED 照明器具	(材料) LGW71690	8.0	台			
	天井開口補強	(材工共)	8.0	台			
	照明器具取付け	(手間)	8.0	台			
	室外機取外し	小型(3.6KW以下)	4.0	台			
	同上 取付け		4.0	台			
	冷媒ガス回収、充填	(脱着に伴う) 補充含む	1.0	式			
	冷媒管真空乾燥費		1.0	式			
	仮設足場 W=900	先行手摺 メッシュシート含む	360.0	m <sup>2</sup>			
	枠組棚足場	H=1.8m	102.0	m <sup>2</sup>			
	小 計						

小矢部市

# 東蟹谷公民館 外壁等改修工事

図面リスト			
図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
A-01	建築工事特記仕様書（一般共通事項）	A-11	天井伏図
A-02	改修特記仕様書（1）		
A-03	改修特記仕様書（2）		
A-04	付近見取図、配置図		
A-05	1階平面図		
A-06	2階平面図		
A-07	東北側立面図		
A-08	西南側立面図		
A-09	断面詳細図1		
A-10	断面詳細図2		

表紙共 12 枚

特記	工事名	東蟹谷公民館外壁等改修工事	設計	一級建築士 大臣登録 第333515号 可部谷 晶子	検図	一級建築士 大臣登録 第108041号 可部谷 一成	株式会社 可部谷建築事務所 一級建築士事務所富山県知事登録第(1)2074号 管理建築士 一級建築士 大臣登録第108041号 可部谷 一成	No. A
	図名	表紙 図面リスト	縮尺	A2: 1/100	月日	令和2年4月 日 Tel: 0766-68-1785		

<p>仕様書</p> <p>I 工事概要</p> <p>1. 工事名称 東蟹谷公民館外壁等改修工事</p> <p>2. 工事場所</p> <table border="1"> <tr><td>地名</td><td>富山県小矢部市藤森地内</td><td>敷地面積</td><td>2000.00</td><td>m<sup>2</sup></td></tr> <tr><td>都市計画区域</td><td>○内(・市街化区域・市街化調整区域) ○その他</td><td>・外</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>用途地域</td><td>指定なし</td><td>防火地域</td><td>指定無し</td><td></td></tr> <tr><td>構造</td><td>鉄筋コンクリート</td><td>造</td><td>階数</td><td>2</td></tr> <tr><td>建築面積</td><td>425.68</td><td>m<sup>2</sup></td><td>延べ面積</td><td>450.43</td><td>m<sup>2</sup></td></tr> <tr><td>屋根仕上</td><td>図示</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>外壁仕上</td><td>図示</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>建築物の用途(建築基準法)</td><td>集合場</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>耐火建築物等の別</td><td>○耐火建築物・準耐火建築物(ⅠⅠ・ⅠⅠ-ⅠⅠ-ⅠⅠ-ⅠⅠ-ⅠⅠ-ⅠⅠ) ・その他</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>最高高さ</td><td>8.82</td><td>m</td><td>最高軒高さ</td><td>8.70</td><td>m</td><td>居室床高さ</td><td>40</td><td>cm</td></tr> <tr><td>基礎形式</td><td>直接基礎</td><td></td><td>地盤の設計長期許容支持力</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>KN/m<sup>2</sup></td></tr> <tr><td>垂直積雪量</td><td>1.50</td><td>m</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>耐震安全性の分類</td><td>構造体</td><td>Ⅰ類・Ⅱ類・Ⅲ類</td><td>(重要度係数</td><td>1.5・1.25・1.0)</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>(官庁施設の総合耐震計画基準)</td><td>建築非構造部材</td><td>・A類(出入口廊除く)</td><td>・B類</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>4. 工事範囲 外壁改修、屋上防水改修、軒天改修、ノックアウト体補修</p> <p>5. 別途工事</p> <p>II 建築工事仕様</p> <p>1. 共通仕様</p> <p>(1) 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部制定「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)平成28年版」(以下「標準仕様」という。 )及び「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)平成28年版」(以下「改修標準仕様」という。)による。</p> <p>(2) 電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事はそれぞれの工事仕様書を適用する。</p> <p>2. 特記仕様</p> <p>(1) 項目は、番号に○印の付いたものを用いる。</p> <p>(2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。</p> <p>○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。</p> <p>○印と◎印の付いた場合は、共に適用する。</p> <p>(3) 製造所名は、五十音順とし「株式会社」等の記載は省略する。また( ) 内は製品名等を示す。</p>	地名	富山県小矢部市藤森地内	敷地面積	2000.00	m <sup>2</sup>	都市計画区域	○内(・市街化区域・市街化調整区域) ○その他	・外			用途地域	指定なし	防火地域	指定無し		構造	鉄筋コンクリート	造	階数	2	建築面積	425.68	m <sup>2</sup>	延べ面積	450.43	m <sup>2</sup>	屋根仕上	図示				外壁仕上	図示				建築物の用途(建築基準法)	集合場				耐火建築物等の別	○耐火建築物・準耐火建築物(ⅠⅠ・ⅠⅠ-ⅠⅠ-ⅠⅠ-ⅠⅠ-ⅠⅠ-ⅠⅠ) ・その他				最高高さ	8.82	m	最高軒高さ	8.70	m	居室床高さ	40	cm	基礎形式	直接基礎		地盤の設計長期許容支持力					KN/m <sup>2</sup>	垂直積雪量	1.50	m							耐震安全性の分類	構造体	Ⅰ類・Ⅱ類・Ⅲ類	(重要度係数	1.5・1.25・1.0)					(官庁施設の総合耐震計画基準)	建築非構造部材	・A類(出入口廊除く)	・B類						<p>⑦ 発生材の処理等</p> <p>◎発生材は構外搬出処分とし、その費用も含め元請業者自らの責任において適正に処理するものとする。</p> <p>・現場説明書による</p> <p>◎運搬、処分委託契約書の写しの提出</p> <p>◎マニフェスト管理一覧表の提出</p> <p>○マニフェスト(A票、B票、C票、D票、E票)の写しの提出</p> <p>・引渡しを要するもの( )</p> <p>・再利用を図るもの( )</p> <p>・特別管理産業廃棄物の種類( )</p> <p>・同上処理方法( )</p> <p>○分別を図るもの(コンクリート)</p> <p>○再資源化を図るもの(コンクリート)</p> <p>・再資源利用計画書等作成及び提出</p> <p>・建設リサイクル法対象工事</p> <p>・特定建設資材廃棄物の種類:</p> <p>・再資源化施設の種類:</p> <p>※適用する</p> <p>・設ける(規模: m<sup>2</sup>程度)</p> <p>・</p> <p>構内既存の施設 ※利用できない ○利用できる(※有償・無償)</p> <p>構内既存の施設 ※利用できない ○利用できる(※有償・無償)</p> <p>構内設置 ・できる ・できない</p> <p>「富山県土木工事共通仕様書」1-1-1-34環境対策に記載の排出ガス対策型建設機械及び低騒音型・低振動型建設機械を使用するものとする。</p> <p>次のいずれかに該当し、かつ、発注者との連絡体制が確保されると認められる場合には、工事現場における常駐を要しない期間として取り扱う。</p> <p>(1) 契約締結後、現場事務所を設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間</p> <p>(2) 工事の全部の施工を一時中止している期間</p> <p>(3) 上記に掲げる期間のほか、工事現場において作業等がおこなわれていない期間</p> <p>労働安全衛生法等に基づき行う日々の安全教育のほか、すべての作業員を対象に、工事現場に即した安全教育・訓練等を、月当たり半日以上頻度で実施するものとする。</p> <p>「富山県土木工事共通仕様書」1-1-1-30 工事中の安全確保</p> <p>公共工事労務費調査等の対象工事とならない場合は、監督職員の指示により必要な協力をしなければならぬ。(富山県土木工事共通仕様書 1-1-1-13)</p> <p>受注者は、本工事を施工するに当たり、暴力団関係者から不当な介入を受けた場合は、断固としてこれを拒否し、不当な介入があった時点で速やかにその旨を監督職員に報告するとともに、警察に届けなければならない。また、下請業者に対しては、暴力団関係者から不当な介入を受けた場合には速やかにその旨を報告するよう指導し、下請業者から報告を受けた受注者は、速やかにその旨を監督職員に報告するとともに、警察に届けなければならない。</p> <p>※着工時製本 ・原図版 2部 ○縮小版A3版 2部</p> <p>※完成図製本(黒表紙) ・原図版 2部 ○縮小版A3版 2部</p> <p>※完成図CADデータ ○CD-R 2部</p> <p>・施工図 ・保全に関する資料</p> <table border="1"> <tr><td>撮影時</td><td>規 格</td><td>撮影箇所数</td><td>部数</td><td>備考</td></tr> <tr><td>着工前</td><td>○L版程度(3枚/頁)</td><td>適正数</td><td>1部</td><td>デジタルカメラは130万~300万画素</td></tr> <tr><td>施工中</td><td>○サムネール版</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>完成時</td><td>※L版程度(3枚/頁)</td><td>適正数</td><td>1部</td><td></td></tr> </table> <p>◎ 施工図等の取扱い</p> <p>◎ 電子納品</p> <p>施工図等の著作権に係わる当該建築物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。</p> <p>※電子納品対象工事</p> <p>以下の示す書類を電子納品する。</p> <p>◎工事写真 ・ 施工計画書 ○完成図(CADデータ) ・ 参考図(ラスタデータ)</p>	撮影時	規 格	撮影箇所数	部数	備考	着工前	○L版程度(3枚/頁)	適正数	1部	デジタルカメラは130万~300万画素	施工中	○サムネール版				完成時	※L版程度(3枚/頁)	適正数	1部		<p>①2 一般共通事項 2</p> <p>① 適用基準等</p> <p>※ 建築工事標準詳細図(国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課標準 平成25年版)</p> <p>※ 国土交通大臣官房官庁営繕部「営繕工事写真撮影要領(平成24年版)」及び「工事写真の撮り方-建築編-(改訂第3版)」</p> <p>※ 富山県電子納品運用ガイドライン(案) [建築工事編] (平成22年4月)</p> <p>・ 建築物解体工事共通仕様書・同解説 国土交通大臣官房官庁営繕部監修(平成24年版)</p> <p>建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。</p> <p>・ 地区の区分に応じた風速 (Vo(m/sec)) ○3.0・3.2</p> <p>・ 地表面粗度区分 ・Ⅰ ・Ⅱ ○Ⅲ ・Ⅳ</p> <p>・ 多雪区域の指定</p> <p>施工時間、工程、安全対策、工事用道路、仮設設備等は監督職員と協議する。</p> <p>※ 本工事に使用する建築材料等は、設計図書に規定するもの又はこれらと同等以上のものとする。但し、同等以上とする場合は、監督職員の承認を受ける。</p> <p>使用する建築材料等に「富山県グリーン購入推進方針」で定められている場合には、それに適合するものとする。</p> <p>・ 本工事で使用する下記の品目については、公共工事における富山県認定リサイクル製品利用方針において優先利用グループに区分されている製品を利用する。</p> <table border="1"> <tr><th>工種</th><th>品目</th><th>規格</th></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>ただし、その製品の入手が困難な場合は、監督職員と協議し、通常製品(新材で製造された製品)へ変更できるものとする。</p> <p>・ 「公共工事における富山県認定リサイクル製品利用方針」に基づき、パイロット工事として下記の製品を利用する。</p> <table border="1"> <tr><th>工種</th><th>品目</th><th>規格</th><th>製品名</th></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>⑤ 技能士</p> <table border="1"> <tr><th>適用工種別</th><th>技能検定の職種</th></tr> <tr><td>仮設工事</td><td>○とび</td></tr> <tr><td>鉄筋工事</td><td>・鉄筋施工(鉄筋組立て作業)</td></tr> <tr><td>コンクリート工事</td><td>・型枠施工 ・コンクリート圧送施工</td></tr> <tr><td>鉄骨工事</td><td>・とび ○鉄工</td></tr> <tr><td>アール・バルコニー工事</td><td>・ブロック建築</td></tr> <tr><td>防水工事</td><td>・777防水工事作業 ・合成ゴム系シート防水工事作業</td></tr> <tr><td></td><td>・塩化ビニル系シート防水工事作業 ○ウレタン系塗膜防水工事作業</td></tr> <tr><td></td><td>○改質777防水工事作業 ○ウレタン防水工事作業</td></tr> <tr><td>石工工事</td><td>・石材施工(石張り施工)</td></tr> <tr><td>タイル工事</td><td>・タイル張り</td></tr> <tr><td>木工工事</td><td>・建築大工</td></tr> <tr><td>屋根及びとび工事</td><td>○建築板金(内外装板金作業) ・スレート施工</td></tr> <tr><td>金属工事</td><td>・内装仕上げ施工(鋼製下地工事作業)</td></tr> <tr><td>左官工事</td><td>○左官 ○樹脂接着剤注入施工 ・ピンネット工法、ひび割れ補修施工</td></tr> <tr><td>建具工事</td><td>・サッシ施工 ・ガラス施工</td></tr> <tr><td>カーテンウォール工事</td><td>・カーテンウォール施工 ・ガラス施工</td></tr> <tr><td>塗装工事</td><td>○塗装(建築塗装作業)</td></tr> <tr><td>内装工事</td><td>・プラスチック系床仕上げ工事作業</td></tr> <tr><td></td><td>・ボード仕上げ工事作業 ・表装(塗装作業)</td></tr> <tr><td>排水工事</td><td>・建築配管作業</td></tr> <tr><td>補装工事</td><td>・造園</td></tr> <tr><td>解体工事</td><td>・解体工事施工士</td></tr> </table> <p>⑥ 技術検査</p> <p>7 室内空気中の化学物質の濃度測定</p> <p>※小矢部市建設工事監督要領による。</p> <p>施工完了時に室内空気中の揮発性有機化合物等の室内濃度を測定し、厚生労働省が定める指値値以下であることを確認し、報告書を作成する。</p> <p>室内濃度測定対象物質</p> <p>※ホルムアルデヒド ※トルエン ※キシレン ※エチルベンゼン ※ステレン</p> <p>※パラジクロロベンゼン(学校施設について測定)</p> <p>・ フタル酸ジ-n-ブチル ・アセトアルデヒド</p> <p>※測定する箇所数 箇所、測定対象室は監督職員の指示による</p> <table border="1"> <tr><th>測定方法</th><th>ホルムアルデヒド・アセトアルデヒド</th><th>その他の揮発性有機化合物</th></tr> <tr><td>採取</td><td>ジニトロフェニルヒドラジン</td><td>固相吸着/溶媒抽出法</td></tr> <tr><td></td><td>誘導体固相吸着/溶媒抽出法</td><td></td></tr> <tr><td>分析</td><td>高速液体クロマトグラフ(HPLC)</td><td>ガスクロマトグラフ法</td></tr> </table> <p>※採取法はバツシブ型採取機器により行う。</p> <p>設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出し、監督職員の承認を受ける。</p> <p>※ 図示 ・ 設計GL=現状GL</p> <p>8 設備工事との取合い</p> <p>9 設計GL</p>	工種	品目	規格				工種	品目	規格	製品名					適用工種別	技能検定の職種	仮設工事	○とび	鉄筋工事	・鉄筋施工(鉄筋組立て作業)	コンクリート工事	・型枠施工 ・コンクリート圧送施工	鉄骨工事	・とび ○鉄工	アール・バルコニー工事	・ブロック建築	防水工事	・777防水工事作業 ・合成ゴム系シート防水工事作業		・塩化ビニル系シート防水工事作業 ○ウレタン系塗膜防水工事作業		○改質777防水工事作業 ○ウレタン防水工事作業	石工工事	・石材施工(石張り施工)	タイル工事	・タイル張り	木工工事	・建築大工	屋根及びとび工事	○建築板金(内外装板金作業) ・スレート施工	金属工事	・内装仕上げ施工(鋼製下地工事作業)	左官工事	○左官 ○樹脂接着剤注入施工 ・ピンネット工法、ひび割れ補修施工	建具工事	・サッシ施工 ・ガラス施工	カーテンウォール工事	・カーテンウォール施工 ・ガラス施工	塗装工事	○塗装(建築塗装作業)	内装工事	・プラスチック系床仕上げ工事作業		・ボード仕上げ工事作業 ・表装(塗装作業)	排水工事	・建築配管作業	補装工事	・造園	解体工事	・解体工事施工士	測定方法	ホルムアルデヒド・アセトアルデヒド	その他の揮発性有機化合物	採取	ジニトロフェニルヒドラジン	固相吸着/溶媒抽出法		誘導体固相吸着/溶媒抽出法		分析	高速液体クロマトグラフ(HPLC)	ガスクロマトグラフ法	<p>② 仮設工事</p> <p>① 足場その他</p> <p>内部足場 種別 ○自立、足場板等</p> <p>外部足場 種別 ○A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種</p> <p>防護シートによる養生</p> <p>※設置する ◎付状養生シート又は養生シート ・ 防音バツル ・</p> <p>なお、出入口等の上部は必要に応じて防護網を設ける。</p> <p>・設置しない</p> <p>材料、撤去材等の運搬 ・ A種 ※B種 ・ C種 ・ D種 ・ E種</p> <p>※ 足場を設ける場合は「手すり先行工法に関するガイドライン」について(厚生労働省 基準第0424001号平成21年4月24日)の「手すり先行工法等に関するガイドライン」により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の(2)手すり設置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。</p> <p>既存部分の養生方法 ※L-シート等</p> <p>既存家具等の養生方法 ※L-シート等</p> <p>既存ブラインド、カーテン等の養生方法及び保管場所 ・ 図示</p> <p>固定された備品、机、ロッカー等の移動 ・ 行う(図示)</p> <p>仮設間仕切り等の種別</p> <table border="1"> <tr><th>種 別</th><th>下 地</th><th>仕上り材(厚さmm)</th><th>充填材(mm)</th><th>塗 装</th></tr> <tr><td>・A種</td><td>※軽量鉄骨</td><td>※セッコウボード(※9.5・)</td><td>厚さ( )</td><td>※無し</td></tr> <tr><td>◎B種</td><td>・木造</td><td>・合板(※9・)</td><td></td><td>・片面</td></tr> <tr><td>・C種</td><td>単管</td><td>防振シート</td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td>※木製扉</td><td>合板張り程度</td><td>・ 行う(厚さ )</td><td>※無し</td></tr> <tr><td>仮設扉</td><td>・</td><td></td><td></td><td>・ 片面</td></tr> </table> <p>② 既存部分の養生(改修工事の場合)</p> <p>3 仮設間仕切り(改修工事の場合)</p>	種 別	下 地	仕上り材(厚さmm)	充填材(mm)	塗 装	・A種	※軽量鉄骨	※セッコウボード(※9.5・)	厚さ( )	※無し	◎B種	・木造	・合板(※9・)		・片面	・C種	単管	防振シート				※木製扉	合板張り程度	・ 行う(厚さ )	※無し	仮設扉	・			・ 片面
地名	富山県小矢部市藤森地内	敷地面積	2000.00	m <sup>2</sup>																																																																																																																																																																																																																				
都市計画区域	○内(・市街化区域・市街化調整区域) ○その他	・外																																																																																																																																																																																																																						
用途地域	指定なし	防火地域	指定無し																																																																																																																																																																																																																					
構造	鉄筋コンクリート	造	階数	2																																																																																																																																																																																																																				
建築面積	425.68	m <sup>2</sup>	延べ面積	450.43	m <sup>2</sup>																																																																																																																																																																																																																			
屋根仕上	図示																																																																																																																																																																																																																							
外壁仕上	図示																																																																																																																																																																																																																							
建築物の用途(建築基準法)	集合場																																																																																																																																																																																																																							
耐火建築物等の別	○耐火建築物・準耐火建築物(ⅠⅠ・ⅠⅠ-ⅠⅠ-ⅠⅠ-ⅠⅠ-ⅠⅠ-ⅠⅠ) ・その他																																																																																																																																																																																																																							
最高高さ	8.82	m	最高軒高さ	8.70	m	居室床高さ	40	cm																																																																																																																																																																																																																
基礎形式	直接基礎		地盤の設計長期許容支持力					KN/m <sup>2</sup>																																																																																																																																																																																																																
垂直積雪量	1.50	m																																																																																																																																																																																																																						
耐震安全性の分類	構造体	Ⅰ類・Ⅱ類・Ⅲ類	(重要度係数	1.5・1.25・1.0)																																																																																																																																																																																																																				
(官庁施設の総合耐震計画基準)	建築非構造部材	・A類(出入口廊除く)	・B類																																																																																																																																																																																																																					
撮影時	規 格	撮影箇所数	部数	備考																																																																																																																																																																																																																				
着工前	○L版程度(3枚/頁)	適正数	1部	デジタルカメラは130万~300万画素																																																																																																																																																																																																																				
施工中	○サムネール版																																																																																																																																																																																																																							
完成時	※L版程度(3枚/頁)	適正数	1部																																																																																																																																																																																																																					
工種	品目	規格																																																																																																																																																																																																																						
工種	品目	規格	製品名																																																																																																																																																																																																																					
適用工種別	技能検定の職種																																																																																																																																																																																																																							
仮設工事	○とび																																																																																																																																																																																																																							
鉄筋工事	・鉄筋施工(鉄筋組立て作業)																																																																																																																																																																																																																							
コンクリート工事	・型枠施工 ・コンクリート圧送施工																																																																																																																																																																																																																							
鉄骨工事	・とび ○鉄工																																																																																																																																																																																																																							
アール・バルコニー工事	・ブロック建築																																																																																																																																																																																																																							
防水工事	・777防水工事作業 ・合成ゴム系シート防水工事作業																																																																																																																																																																																																																							
	・塩化ビニル系シート防水工事作業 ○ウレタン系塗膜防水工事作業																																																																																																																																																																																																																							
	○改質777防水工事作業 ○ウレタン防水工事作業																																																																																																																																																																																																																							
石工工事	・石材施工(石張り施工)																																																																																																																																																																																																																							
タイル工事	・タイル張り																																																																																																																																																																																																																							
木工工事	・建築大工																																																																																																																																																																																																																							
屋根及びとび工事	○建築板金(内外装板金作業) ・スレート施工																																																																																																																																																																																																																							
金属工事	・内装仕上げ施工(鋼製下地工事作業)																																																																																																																																																																																																																							
左官工事	○左官 ○樹脂接着剤注入施工 ・ピンネット工法、ひび割れ補修施工																																																																																																																																																																																																																							
建具工事	・サッシ施工 ・ガラス施工																																																																																																																																																																																																																							
カーテンウォール工事	・カーテンウォール施工 ・ガラス施工																																																																																																																																																																																																																							
塗装工事	○塗装(建築塗装作業)																																																																																																																																																																																																																							
内装工事	・プラスチック系床仕上げ工事作業																																																																																																																																																																																																																							
	・ボード仕上げ工事作業 ・表装(塗装作業)																																																																																																																																																																																																																							
排水工事	・建築配管作業																																																																																																																																																																																																																							
補装工事	・造園																																																																																																																																																																																																																							
解体工事	・解体工事施工士																																																																																																																																																																																																																							
測定方法	ホルムアルデヒド・アセトアルデヒド	その他の揮発性有機化合物																																																																																																																																																																																																																						
採取	ジニトロフェニルヒドラジン	固相吸着/溶媒抽出法																																																																																																																																																																																																																						
	誘導体固相吸着/溶媒抽出法																																																																																																																																																																																																																							
分析	高速液体クロマトグラフ(HPLC)	ガスクロマトグラフ法																																																																																																																																																																																																																						
種 別	下 地	仕上り材(厚さmm)	充填材(mm)	塗 装																																																																																																																																																																																																																				
・A種	※軽量鉄骨	※セッコウボード(※9.5・)	厚さ( )	※無し																																																																																																																																																																																																																				
◎B種	・木造	・合板(※9・)		・片面																																																																																																																																																																																																																				
・C種	単管	防振シート																																																																																																																																																																																																																						
	※木製扉	合板張り程度	・ 行う(厚さ )	※無し																																																																																																																																																																																																																				
仮設扉	・			・ 片面																																																																																																																																																																																																																				
<p>特記</p>	<p>工事名 東蟹谷公民館外壁等改修工事</p> <p>図名 建築工事特記仕様書(一般共通事項)</p>	<p>設計 一級建築士 大臣登録 第333515号 可部谷 晶子</p> <p>校図 一級建築士 大臣登録 第108041号 可部谷 一成</p> <p>縮尺 A2: 1/100</p> <p>月日 令和2年4月 日</p> <p>Tel: 0766-68-1785</p>	<p>株式会社 可部谷建築事務所</p> <p>一級建築士事務所富山県知事登録第(1)2074号</p> <p>管理建築士 一級建築士 大臣登録第108041号 可部谷 一成</p> <p>No. A-01</p>																																																																																																																																																																																																																					

<p>5 建築改修工事</p> <p>① 改修工法</p> <p>2 ガラス用フィルム</p> <p>① 基本要品質</p> <p>② 改修範囲</p> <p>③ 既存床の撤去、下地補修</p> <p>④ 既存壁の撤去、下地補修</p> <p>⑤ 軽重鉄骨天井下地</p>	<p>改修工法 適用箇所</p> <p>○かませ工法 ※建具表による</p> <p>○撤去工法 ※建具表による</p> <table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>種類</th> <th>張り面</th> <th>性能値</th> </tr> <tr> <td>※ガラス飛散防止フィルム</td> <td>GS</td> <td>※内張り・外張り</td> <td>飛散防止率 D1</td> </tr> </table> <p>品質 JIS A5759による</p> <p>特記以外の建物内部に使用するユニット及びその他工事の既製品等の品質、又は製品を構成する材料のホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 ・第三種</p> <p>既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井、壁、床の改修範囲 ※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う</p> <p>・図示の範囲</p> <p>天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲 ※壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う</p> <p>・図示の範囲</p> <p>天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修 ※既存のまま</p> <p>・図示の範囲</p> <p>ビニル床シート等の除去 ※仕上げ材のみ(接着剤とも)</p> <p>・下地モルタルとも(※図示の範囲 ・除去範囲全て)</p> <p>合成樹脂塗料床材の除去工法 ※機械的除去工法 ・目貫工法</p> <p>改修後の床の清掃範囲 ※改修箇所の室内</p> <p>間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修 ※図示</p> <p>・モルタル塗り</p> <p>仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合は処理</p> <p>・適用する(範囲は図示)</p> <p>※1/4は製ワトンを、縦横 200mm 程度の間隔に打ち込み、2/4は3等を超える。</p> <p>・図示</p> <p>既存の埋込インサート ・使用する ○使用しない</p> <p>あと施工アンカーの引抜き試験 ・行う ○行わない</p> <p>屋外の場合の試験</p> <p>荷重 ・400N</p> <p>箇所数 ・当該箇において3箇所程度 ・図示</p> <p>天井下地材における耐震性を考慮した補強 ・行う 補強箇所 ※ 図示</p> <p>補強方法 ※ 図示</p>	名称	種類	張り面	性能値	※ガラス飛散防止フィルム	GS	※内張り・外張り	飛散防止率 D1	<p>つや合成樹脂エマルジョンペイント塗り(コケリ面、柱断面、フタ面、せっこうボード面、その他「D」面の塗替えのし止め</p> <p>※改修標準仕様書表7.9.1の工程1の下塗りをし止めシーラーとする</p> <p>合成樹脂エマルジョンペイント塗りの塗替えのし止め</p> <p>※改修標準仕様書表7.9.1の工程1の下塗りをし止めシーラーとする</p> <p>8-1 あと施工アンカーの材料</p> <p>あと施工アンカーの材料</p> <p>○金属拡張アンカー</p> <p>○接着系アンカー</p> <p>カプセルの品質 ※有機系 ・無機系</p> <p>8-2 耐震改修工事</p> <p>1 あと施工アンカーの材料</p> <p>あと施工アンカーの材料</p> <p>・金属拡張アンカー(耐震補強用)</p> <p>○接着系アンカー</p> <p>カプセルの品質 ※有機系 ・無機系</p> <p>2 モルタル及びグラウト材</p> <p>柱底均しモルタル</p> <p>※無収縮モルタル</p> <p>グラウト材</p> <p>無収縮グラウト材の材質等</p> <p>セメント系(酸化カルシウム及びカルシウム・サルファ・アルミナート等)によって膨張する性質を利用するものとする</p> <p>JIS R 5210(非引張り用)による普通または早強が好ましいとする。</p> <p>セメント</p> <p>土木学会コンクリート標準示方書に定められた品質を有するもので、特に精選されたものを絶対乾燥状態で使用する</p> <p>ただし、現場調合形に使用される砂の乾燥状態については、規定しない。</p> <p>無収縮グラウトの品質及び試験方法(現場調合形においては標準使用量・配合値)</p> <p>ブリージング 練り混ぜ2時間後のブリージング率:2.0%以下</p> <p>凝結時間 凝結開始時間 1時間以上</p> <p>終結時間 10時間以内</p> <p>無収縮性 材齢 7日 収縮しない</p> <p>圧縮強度 材齢 3日 20N/mm<sup>2</sup>以上</p> <p>材齢 28日 40N/mm<sup>2</sup>以上</p> <p>材齢 28日 2.5N/mm<sup>2</sup>以上</p> <p>付着強度 材齢28日 0.30kg/cm<sup>2</sup>以下</p> <p>塩化物量 0.30kg/m<sup>3</sup>以下</p> <p>試験方法 1)NEXCO試験方法 試験方法312-1999「無収縮モルタル品質管理試験方法」による。プレミックス形と現場調合形が混和材が同一の場合はプレミックスのみ試験を行う</p> <p>2)塩化物の試験は、JIS A 1144「フレッシュコンクリート中の水の塩化物イオン濃度試験方法」による。</p> <p>3 連続繊維シート巻き</p> <p>材料・形状</p> <p>採用した工法の規定を満足するもの</p> <p>材質</p> <p>引張り強度(含浸硬化後)</p> <p>・2500N/mm<sup>2</sup>以上</p> <p>・3000N/mm<sup>2</sup>以上</p> <p>ヤング係数(含浸硬化後)</p> <p>・2.35×10<sup>5</sup>N/mm<sup>2</sup>程度</p> <p>・2.00×10<sup>5</sup>N/mm<sup>2</sup>以上</p> <p>工法</p> <p>※(一財)日本建築防協会の評価を受けた工法</p> <p>下地調整</p> <p>ひび割れ部の改修工法の種類</p> <p>・樹脂注入工法 ・Uカットシール材充填工法 ・シール工法</p> <p>柱の隅角部の取取り</p> <p>※工法の評価内容による</p> <p>4 あと施工アンカーの穿孔</p> <p>穿孔前の既存鉄筋及び埋込み配管・配線等の探索</p> <p>範囲 ※あと施工アンカー施工部分全て ・図示</p> <p>方法 ※探索器により探索し、配管等の位置の量出を行う</p> <p>探索器の種類</p> <p>・はつり出しによる</p> <p>既存コンクリートの不良箇所の確認</p> <p>※アンカー施工部位の既存コンクリート目貫し後、目視及び打診により状況を確認し、じゃんか等不良箇所を発見した場合には、監督職員と協議すること。</p> <p>5 あと施工アンカーの施工確認試験</p> <p>試験方法</p> <p>○引張試験</p> <p>6 鉄骨の錆止め塗装</p> <p>錆止め塗料の種類 ※JIS K 5674</p> <table border="1"> <tr> <th>下地の種類</th> <th>種別</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>鉄鋼面</td> <td>※A種 ・ B種</td> <td>屋外、屋内</td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき面</td> <td>※A種 ・ B種 ・ C種</td> <td>屋外、屋内</td> </tr> <tr> <td>鋼製スリーブの内側</td> <td>※A種 ・ B種</td> <td></td> </tr> </table> <p>7 既存コンクリート面の目貫し</p> <p>適用範囲</p> <p>※既存コンクリートとの打継ぎ面</p> <p>※既存コンクリートとモルタル又はグラウト材の充てん部の接合面</p> <p>目貫しし程度</p> <p>※柱・梁面 打継ぎ面又は接合面全面の15~30%程度</p> <p>※梁面 打継ぎ面又は接合面全面の10~15%程度</p> <p>目貫らしの範囲</p> <p>※平均深さ 2~5mm で最大深さ 7mm 程度の凹部を全体にわたって施す</p> <p>8 現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事</p> <p>工法の種類</p> <p>○流し込み工法</p> <p>○圧入工法</p> <p>9 柱補強</p> <p>・溶接鋼巻き工法及び溶接閉鎖フープ巻き工法</p> <p>・鋼板巻き工法及び帯板巻き付け工法</p> <p>・連続繊維補強工法</p> <p>10 スリットの施工</p> <p>スリット部の配管等の探索</p> <p>※探索器により探索し、配管等の位置に量出を行う</p> <p>・はつり出し</p>	下地の種類	種別	適用箇所	鉄鋼面	※A種 ・ B種	屋外、屋内	亜鉛めっき面	※A種 ・ B種 ・ C種	屋外、屋内	鋼製スリーブの内側	※A種 ・ B種		<p>⑤ 環境配慮改修工事</p>	<p>1 アスベスト含有建材の処理</p> <p>・分析によるアスベスト含有建材の調査</p> <p>分析方法 ※ JIS A1481「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」による。</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="3">分析結果については、監督職員に報告すること。</th> <th colspan="2">分析方法</th> </tr> <tr> <th>材料名</th> <th>採取場所</th> <th>箇所数</th> <th>※ 定性分析</th> <th>・ 定量分析</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※ 定性分析</td> <td>・ 定量分析</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※ 定性分析</td> <td>・ 定量分析</td> </tr> </table> <p>アスベスト粉じん濃度測定</p> <p>※行う 測定室( )</p> <table border="1"> <tr> <th>測定名称</th> <th>測定時期</th> <th>測定場所</th> <th>測定点</th> </tr> <tr> <td>測定1</td> <td>処理作業前</td> <td>処理作業室内</td> <td>・各1点 ・各2点 ・各3点</td> </tr> <tr> <td>測定2</td> <td>処理作業前</td> <td>調査対象室外部の付近</td> <td>・各1点 ・各2点</td> </tr> <tr> <td>測定3</td> <td>処理作業前</td> <td>処理作業室内</td> <td>・各1点 ・各2点 ・各3点</td> </tr> <tr> <td>測定4</td> <td>処理作業中</td> <td>負圧・除じん装置の排出吹出し口</td> <td>出口吹出し風速1m/sec以下の位置</td> </tr> <tr> <td>測定5</td> <td>処理作業中</td> <td>処理作業室外</td> <td>・各1点 ・各2点</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(敷地境界)</td> </tr> <tr> <td>測定6</td> <td>処理作業後(1~4養生中)</td> <td>処理作業室内</td> <td>・各1点 ・各2点</td> </tr> <tr> <td>測定7</td> <td>処理作業後シート撤去後</td> <td>処理作業室内</td> <td>・各1点 ・各2点 ・各3点</td> </tr> <tr> <td>測定8</td> <td>1週間以降</td> <td>調査対象室外部の付近</td> <td>・各1点 ・各2点</td> </tr> </table> <p>測定方法</p> <table border="1"> <tr> <th>測定3</th> <th>測定1,2,4,6,7,8</th> <th>測定5</th> </tr> <tr> <td>メンブレンフィルタ直径(mm)</td> <td>25</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>試験の吸引流量(L/min)</td> <td>・1</td> <td>・5</td> </tr> <tr> <td>試験の吸引時間(L/min)</td> <td>・5</td> <td>・120</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・240</td> </tr> </table> <p>アスベスト含有建材の処理</p> <p>・アスベスト含有吹付け材の除去</p> <p>除去対象範囲 ※図示</p> <p>除去工法 ※改修標準仕様書9.1.3(b)(1)による</p> <p>除去したアスベスト含有吹付け材等の処理 ※密封処理 ※湿潤化 ・セメント固化</p> <p>・アスベスト含有保温材等の除去</p> <p>除去対象範囲 ※図示</p> <p>作業時の隔離 ・行う</p> <p>・アスベスト含有成型板の除去</p> <p>除去対象範囲 ※図示</p> <p>2 ガラス改修工事</p> <p>複層ガラス</p> <table border="1"> <tr> <th>品番</th> <th>断熱性</th> <th>日射軽減係数</th> <th>厚さ</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">・断熱複層ガラス</td> <td>・1種</td> <td>U1</td> <td>・図示</td> </tr> <tr> <td>・2種</td> <td>U2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・3種</td> <td>・U-3-1 ・U-3-2</td> <td></td> </tr> </table> <p>3 断熱・防露改修工事</p> <p>断熱材は、原則として「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」における特定調達品目を使用する。</p> <p>ロックウール、グラスウール、フェノールフォーム、ユリア樹脂又はメラミン樹脂を使用した断熱材のホルムアルデヒドの放散量</p> <p>※規制対象外 ・第三種</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>発泡材の種類</th> <th>種類</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>施行箇所</th> </tr> <tr> <td>・ビーズ法ポリスチレンフォーム保温材</td> <td>A種</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・押出法ポリスチレンフォーム保温材</td> <td>A種</td> <td>・保温板(2種b)</td> <td>・25</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・保温板(3種b)</td> <td>・25</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・硬質ウレタンフォーム保温材</td> <td>※A種</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・フェノールフォーム保温材(3種2号除く)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>施工箇所 ・図示</p> <table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>断熱材の種類</th> </tr> <tr> <td>・断熱材現場発泡工法</td> <td>※A種1 ・ B種1</td> </tr> <tr> <td>厚さ(mm)</td> <td>・25 ・30</td> </tr> </table> <p>施工箇所</p> <p>※窓回り等の断熱材補修部分、ルーフトレイン周りの床板下等、部分的に後張りとしなければならない箇所</p> <p>・図示</p> <p>4 屋上緑化改修工事</p> <p>植栽基盤及び材料</p> <p>・屋上緑化軽量システム ・適用する ・適用しない</p> <p>芝及び地被類の樹根並びに種類等 ※図示</p> <p>見切材、舗装材、水抜き管、マルチング材等 ※図示</p> <p>支柱 ・設置する(種類 ・図示 ・)</p> <p>かん水装置 ・設置する(工事区分は図示による)</p> <p>既存保護層の撤去 ・行う</p>	分析結果については、監督職員に報告すること。			分析方法		材料名	採取場所	箇所数	※ 定性分析	・ 定量分析				※ 定性分析	・ 定量分析				※ 定性分析	・ 定量分析	測定名称	測定時期	測定場所	測定点	測定1	処理作業前	処理作業室内	・各1点 ・各2点 ・各3点	測定2	処理作業前	調査対象室外部の付近	・各1点 ・各2点	測定3	処理作業前	処理作業室内	・各1点 ・各2点 ・各3点	測定4	処理作業中	負圧・除じん装置の排出吹出し口	出口吹出し風速1m/sec以下の位置	測定5	処理作業中	処理作業室外	・各1点 ・各2点				(敷地境界)	測定6	処理作業後(1~4養生中)	処理作業室内	・各1点 ・各2点	測定7	処理作業後シート撤去後	処理作業室内	・各1点 ・各2点 ・各3点	測定8	1週間以降	調査対象室外部の付近	・各1点 ・各2点	測定3	測定1,2,4,6,7,8	測定5	メンブレンフィルタ直径(mm)	25	25	試験の吸引流量(L/min)	・1	・5	試験の吸引時間(L/min)	・5	・120			・240	品番	断熱性	日射軽減係数	厚さ	・断熱複層ガラス	・1種	U1	・図示	・2種	U2		・3種	・U-3-1 ・U-3-2		種類	発泡材の種類	種類	厚さ(mm)	施行箇所	・ビーズ法ポリスチレンフォーム保温材	A種				・押出法ポリスチレンフォーム保温材	A種	・保温板(2種b)	・25				・保温板(3種b)	・25		・硬質ウレタンフォーム保温材	※A種				・フェノールフォーム保温材(3種2号除く)					工法	断熱材の種類	・断熱材現場発泡工法	※A種1 ・ B種1	厚さ(mm)	・25 ・30	<p>④ メーカーリスト</p> <p>外壁吹付 アロンウォール 東亜合成機間等品</p> <p>ウレタン塗膜防水 アロンコートSQ 東亜合成機間等品</p>	<p>・別途工事との取合いについて、施工者相互に情報を交換し、円滑に連携なく工事を進めること。</p> <p>・施設運営に支障が生じることのない様、工事着手前に管理者及び各関係者と協議を行った上で、施工計画書を作成・提出して、承認を得ること。</p> <p>・着工前に現場の現状を十分に把握し、監督職員の助言を得て施設管理者と協議したうえで、総合工程表・総合図・施工計画書を作成し、発注者、施設管理者、係員の承認を得ること。</p> <p>・総合仮設計画については、関係者(工事監理者・施設管理者・消防等)と協議して決定すること。</p> <p>・「学校等に近接」という特性をふまえ、安全管理・対策には十分に配慮・検討を行い、施設及び各関係者と打合せの上、施工すること。</p> <p>・施工計画において、安全確保のため、必要に応じて仮設圍工仕を設けること。</p> <p>・建築工事安全施工技術指針、建設工事公衆災害防止対策要綱に基づき、施工計画、安全管理を行うこと。</p> <p>・施工計画には、特に以下の1~6の内容を漏れなく記載すること。(※施設管理者及び各関係者にもわかりやすい、明確で本工事における具体的な内容とすること)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 全体工期及び休日、祝日などの予定日、及び使用予定日</li> <li>2. 養生方法及び範囲</li> <li>3. 作業員や資材、足場などの搬入、搬出ルート、及び各安全対策</li> <li>4. 工事資材等の搬出入ルート</li> <li>5. 既存取合い工事による電気、給排水衛生が使用できない期間等</li> <li>6. その他特記事項</li> </ol> <p>・工事着手後、速やかに現地確認・調査、報告書作成の上、施工範囲及び改修方法の再検討を行い、係員の承認を得ること。</p> <p>・設計図書中に数量が明記されている場合であっても、あくまで参考数量であり、施工に際しては現場探査、報告書作成の上、発注者、係員承認により、数量決定とすること。その際、設計数量より増減があるも本工事内にて施工すること。</p> <p>・図中メーカー指定あるも、同等品以上の使用を可とする。その際、係員に性能等を確認できる比較技術資料・見本等を提出の上、承認を得ること。</p> <p>・図面に明記無くも、各工事施工に際し障害となる機具・什器等は、適宜施設管理者と協議・協力のの上、本工事内にて仮移設・再移設又は、養生(保管)を行うこと。</p> <p>・各工事過程において、施主及び係員の立ち会いを求める各種検査等については、原則として書面をもって事前連絡を行うこと。</p> <p>・施主及び係員の立ち会いを求める各種検査の前には、事前に社内検査を実施し、事前に検査報告書提出すること。</p> <p>・敷地内外にかかわらず、建設機械等での荷揚げ時において、舗装・外構面に固定する等する場合には敷板等発生を要すること。万一、舗装・外構面を破損した場合には、請負者が責任を持ってすみやかに現状復旧すること。</p> <p>・建設副産物及び産業廃棄物処分の際し、下記マニフェスト等の書類を提出すること。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. マニフェスト集計表</li> <li>2. 建設廃棄物マニフェスト(A・E票コピー)</li> <li>3. 建設廃棄物処理委託契約書(コピー)</li> <li>4. 産業廃棄物収集運搬業許可証(コピー)</li> <li>5. 産業廃棄物処分業許可証(コピー)</li> <li>6. 運搬車両の積載状況の確認が出来る書類、写真等</li> <li>7. 運搬経路図</li> </ol> <p>・工事の際し、指示なき既存部分を破損した場合は、係員の指示により、請負者の負担によりすみやかに現状復旧すること。</p> <p>・施工上、取外が必要となる既存設備機器等は、再利用を原則とする。取外・再取付にあたっては、各専門工事業者によるものとし、取外した機器等は養生の上で、事業者の指定場所又は請負業者により保管する。また、取外し時若しくは保管中に機器等が破損した場合、係員の指示により、請負者の負担にて補修又は更新を行うこと。</p> <p>・電気、給排水、ガス等の取合いのある家具等の移設・復旧は設備工事請負者と協力して、本工事内にて移設・復旧時における配線・配管の取外し・養生・再取付を行うこと。</p> <p>・発生材の処理においては、建設リサイクル法(再生資源の利用の促進に関する法律、産廃物の処理及び清掃に関する法律、建設副産物適正処理推進要綱、その他関連法令・基準等)に従って適切に処理すること。</p> <p>・解体撤去工事に伴う発生材は、原則すべて現場搬出し請負者の責任において指定処理場にて最終処分すること。また、解体工事に際しては、解体処分業者の証明書および建設副産物マニフェスト等の書類を提出すること。</p> <p>・本工事範囲内において、図面に明記無くも、各種法令に基づく有害物質(アスベスト、PCB、フロン等)の含有・使用が認められた場合、若しくは含有・使用の可能性が極めて高いと考えられる場合、速やかに係員に報告の上、各種法令に基づき、適切に除去処分すること。</p> <p>・石綿が0.1%以下であっても含有する可能性のある成形板等は水等に湿潤し、周囲に飛散することの無いよう適切に解体に当たること。</p>																																				
名称	種類	張り面	性能値																																																																																																																																																																																								
※ガラス飛散防止フィルム	GS	※内張り・外張り	飛散防止率 D1																																																																																																																																																																																								
下地の種類	種別	適用箇所																																																																																																																																																																																									
鉄鋼面	※A種 ・ B種	屋外、屋内																																																																																																																																																																																									
亜鉛めっき面	※A種 ・ B種 ・ C種	屋外、屋内																																																																																																																																																																																									
鋼製スリーブの内側	※A種 ・ B種																																																																																																																																																																																										
分析結果については、監督職員に報告すること。			分析方法																																																																																																																																																																																								
材料名	採取場所	箇所数	※ 定性分析	・ 定量分析																																																																																																																																																																																							
			※ 定性分析	・ 定量分析																																																																																																																																																																																							
			※ 定性分析	・ 定量分析																																																																																																																																																																																							
測定名称	測定時期	測定場所	測定点																																																																																																																																																																																								
測定1	処理作業前	処理作業室内	・各1点 ・各2点 ・各3点																																																																																																																																																																																								
測定2	処理作業前	調査対象室外部の付近	・各1点 ・各2点																																																																																																																																																																																								
測定3	処理作業前	処理作業室内	・各1点 ・各2点 ・各3点																																																																																																																																																																																								
測定4	処理作業中	負圧・除じん装置の排出吹出し口	出口吹出し風速1m/sec以下の位置																																																																																																																																																																																								
測定5	処理作業中	処理作業室外	・各1点 ・各2点																																																																																																																																																																																								
			(敷地境界)																																																																																																																																																																																								
測定6	処理作業後(1~4養生中)	処理作業室内	・各1点 ・各2点																																																																																																																																																																																								
測定7	処理作業後シート撤去後	処理作業室内	・各1点 ・各2点 ・各3点																																																																																																																																																																																								
測定8	1週間以降	調査対象室外部の付近	・各1点 ・各2点																																																																																																																																																																																								
測定3	測定1,2,4,6,7,8	測定5																																																																																																																																																																																									
メンブレンフィルタ直径(mm)	25	25																																																																																																																																																																																									
試験の吸引流量(L/min)	・1	・5																																																																																																																																																																																									
試験の吸引時間(L/min)	・5	・120																																																																																																																																																																																									
		・240																																																																																																																																																																																									
品番	断熱性	日射軽減係数	厚さ																																																																																																																																																																																								
・断熱複層ガラス	・1種	U1	・図示																																																																																																																																																																																								
	・2種	U2																																																																																																																																																																																									
	・3種	・U-3-1 ・U-3-2																																																																																																																																																																																									
種類	発泡材の種類	種類	厚さ(mm)	施行箇所																																																																																																																																																																																							
・ビーズ法ポリスチレンフォーム保温材	A種																																																																																																																																																																																										
・押出法ポリスチレンフォーム保温材	A種	・保温板(2種b)	・25																																																																																																																																																																																								
		・保温板(3種b)	・25																																																																																																																																																																																								
・硬質ウレタンフォーム保温材	※A種																																																																																																																																																																																										
・フェノールフォーム保温材(3種2号除く)																																																																																																																																																																																											
工法	断熱材の種類																																																																																																																																																																																										
・断熱材現場発泡工法	※A種1 ・ B種1																																																																																																																																																																																										
厚さ(mm)	・25 ・30																																																																																																																																																																																										
<p>特記</p>	<p>① 材料</p> <p>建物内部に使用するユリア樹脂等を用いたホルムアルデヒドの放散量</p> <p>※規制対象外 ・第三種</p> <p>防火材料 ※室内の壁及び天井仕上げ材は、防火材料とする。</p> <p>・次の箇所を除き、防火材料とする。(箇所: )</p> <p>② 下地調整</p> <p>塗替えR種の場合の既存塗膜の除去範囲</p> <p>※塗替え面積の30% ・図示</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">下地面の種類</th> <th colspan="2">下地調整の種類</th> <th rowspan="2">ひび割れ部の補修(補修方法等は図示)</th> </tr> <tr> <th>塗替え</th> <th>新規</th> </tr> <tr> <td>木部</td> <td>※R種 ・</td> <td>・RA種 ・RB種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面</td> <td>※R種 ・</td> <td>※RA種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき面</td> <td>※R種 ・</td> <td>※RA種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき面(鋼製建具)</td> <td>※R種 ・</td> <td>※RC種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>モルタル面、プラスター面</td> <td>※R種 ・</td> <td>・RA種 ・RB種</td> <td>・行う</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・行わない</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面(DP以外)、ALCパネル面</td> <td>※R種 ・</td> <td>※RA種</td> <td>・行う</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・行わない</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面(DP)、押出成形セメント板</td> <td></td> <td>※RA種</td> <td>・行う</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・行わない</td> </tr> <tr> <td>せっこうボード面及びその他ボード面</td> <td>※R種 ・</td> <td>・RA種 ・RB種</td> <td></td> </tr> </table> <p>③ 錆止め塗料塗り</p> <p>錆止め塗料の種類 ※JIS K 5674</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">塗装面</th> <th colspan="2">塗料</th> <th rowspan="2">工程</th> </tr> <tr> <th>塗替え</th> <th>新規</th> </tr> <tr> <td rowspan="4">鉄鋼面</td> <td>EP-G以外</td> <td>塗替え ※A種</td> <td>※C種 ・</td> </tr> <tr> <td></td> <td>新規鉄鋼面見え掛り ※A種</td> <td>※A種 ・</td> </tr> <tr> <td></td> <td>新規見え隠れ ※A種</td> <td>※B種 ・</td> </tr> <tr> <td></td> <td>塗替え ※B種</td> <td>※C種 ・</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">EP-G</td> <td>塗替え ※B種</td> <td>※B種</td> <td>※A種 ・</td> </tr> <tr> <td>新規鉄鋼面見え掛り ※B種</td> <td>※A種 ・</td> <td></td> </tr> <tr> <td>新規見え隠れ ※B種</td> <td>※B種</td> <td>※C種 ・</td> </tr> <tr> <td>塗替え ※B種</td> <td>※B種</td> <td>※C種 ・</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">亜鉛めっき面</td> <td>EP-G以外</td> <td>塗替え ※A種 ・ B種</td> <td>※C種 ・</td> </tr> <tr> <td></td> <td>新規鉄鋼面見え掛り ※A種 ・ B種</td> <td>※A種 ・</td> </tr> <tr> <td></td> <td>塗替え ※A種 ・ B種</td> <td>※C種 ・</td> </tr> <tr> <td></td> <td>新規鉄鋼面見え掛り ※A種 ・ B種</td> <td>※A種 ・</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">EP-G</td> <td>塗替え ※C種</td> <td>※C種</td> <td>※C種 ・</td> </tr> <tr> <td>新規鉄鋼面見え掛り ※C種</td> <td>※A種 ・</td> <td></td> </tr> </table> <p>○エポキシ樹脂錆止め塗料</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">塗装の種類</th> <th rowspan="2">塗装面</th> <th colspan="2">工程</th> </tr> <tr> <th>塗替え</th> <th>新規</th> </tr> <tr> <td rowspan="4">・合成樹脂調合ペイント塗り(SOP)</td> <td>木部屋外</td> <td>※B種 ・</td> <td>※A種</td> </tr> <tr> <td>木部屋内</td> <td>※B種 ・</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面</td> <td>※B種 ・</td> <td>※B種 ・ A種</td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき面(鋼製建具)</td> <td>※A種 ・</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・クリヤラッカー塗り(L)</td> <td>亜鉛めっき面(鋼製建具以外)</td> <td>※B種 ・</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>※B種 ・ A種</td> <td>※B種 ・ A種</td> </tr> <tr> <td>・フタル酸樹脂エナメル塗り(FE)</td> <td></td> <td>※B種 ・ A種</td> <td>※B種 ・ A種</td> </tr> <tr> <td>・アクリル樹脂非水分散型塗料塗り(MAD)</td> <td></td> <td>※B種 ・ A種</td> <td>※B種 ・ A種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">○耐酸塗料塗り(DP)</td> <td>鉄鋼面</td> <td>上塗り等級( )級</td> <td>※A種</td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき面</td> <td>上塗り等級( )級</td> <td>※A種</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">○つや合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP-G)</td> <td>コケリ面及び押出成形材の板面</td> <td>※B種 ・</td> <td>※B種 ・ A種</td> </tr> <tr> <td>コケリ面等</td> <td>※B種 ・</td> <td>※A種</td> </tr> <tr> <td>屋内の木部</td> <td>※B種 ・</td> <td>※A種</td> </tr> <tr> <td>屋内の鉄鋼面</td> <td>※B種 ・</td> <td>※B種 ・ A種</td> </tr> <tr> <td>屋内の亜鉛めっき面</td> <td>※B種 ・</td> <td>※B種 ・ A種</td> </tr> <tr> <td>・合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP)</td> <td></td> <td>※B種 ・</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td>・合成樹脂エマルジョン機種塗料塗り(EP-T)</td> <td></td> <td>※B種 ・</td> <td>※B種 ・ A種</td> </tr> <tr> <td>・ウレタン樹脂ワニス塗り(U)</td> <td></td> <td>※B種 ・ A種</td> <td>※B種 ・ A種</td> </tr> <tr> <td>・ラッカーエナメル塗り(LE)</td> <td></td> <td>※B種 ・ A種</td> <td>※B種 ・ A種</td> </tr> <tr> <td>・オイルステイン塗り(OS)</td> <td></td> <td>※B種 ・ A種</td> <td>※B種 ・ A種</td> </tr> <tr> <td>・木部保護塗料塗り(WP)</td> <td></td> <td>※B種 ・ A種</td> <td>※B種 ・ A種</td> </tr> </table>	下地面の種類	下地調整の種類		ひび割れ部の補修(補修方法等は図示)	塗替え	新規	木部	※R種 ・	・RA種 ・RB種		鉄鋼面	※R種 ・	※RA種		亜鉛めっき面	※R種 ・	※RA種		亜鉛めっき面(鋼製建具)	※R種 ・	※RC種		モルタル面、プラスター面	※R種 ・	・RA種 ・RB種	・行う				・行わない	コンクリート面(DP以外)、ALCパネル面	※R種 ・	※RA種	・行う				・行わない	コンクリート面(DP)、押出成形セメント板		※RA種	・行う				・行わない	せっこうボード面及びその他ボード面	※R種 ・	・RA種 ・RB種		塗装面	塗料		工程	塗替え	新規	鉄鋼面	EP-G以外	塗替え ※A種	※C種 ・		新規鉄鋼面見え掛り ※A種	※A種 ・		新規見え隠れ ※A種	※B種 ・		塗替え ※B種	※C種 ・	EP-G	塗替え ※B種	※B種	※A種 ・	新規鉄鋼面見え掛り ※B種	※A種 ・		新規見え隠れ ※B種	※B種	※C種 ・	塗替え ※B種	※B種	※C種 ・	亜鉛めっき面	EP-G以外	塗替え ※A種 ・ B種	※C種 ・		新規鉄鋼面見え掛り ※A種 ・ B種	※A種 ・		塗替え ※A種 ・ B種	※C種 ・		新規鉄鋼面見え掛り ※A種 ・ B種	※A種 ・	EP-G	塗替え ※C種	※C種	※C種 ・	新規鉄鋼面見え掛り ※C種	※A種 ・		塗装の種類	塗装面	工程		塗替え	新規	・合成樹脂調合ペイント塗り(SOP)	木部屋外	※B種 ・	※A種	木部屋内	※B種 ・	※B種	鉄鋼面	※B種 ・	※B種 ・ A種	亜鉛めっき面(鋼製建具)	※A種 ・	※B種	・クリヤラッカー塗り(L)	亜鉛めっき面(鋼製建具以外)	※B種 ・	※B種		※B種 ・ A種	※B種 ・ A種	・フタル酸樹脂エナメル塗り(FE)		※B種 ・ A種	※B種 ・ A種	・アクリル樹脂非水分散型塗料塗り(MAD)		※B種 ・ A種	※B種 ・ A種	○耐酸塗料塗り(DP)	鉄鋼面	上塗り等級( )級	※A種	亜鉛めっき面	上塗り等級( )級	※A種	○つや合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP-G)	コケリ面及び押出成形材の板面	※B種 ・	※B種 ・ A種	コケリ面等	※B種 ・	※A種	屋内の木部	※B種 ・	※A種	屋内の鉄鋼面	※B種 ・	※B種 ・ A種	屋内の亜鉛めっき面	※B種 ・	※B種 ・ A種	・合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP)		※B種 ・	※B種	・合成樹脂エマルジョン機種塗料塗り(EP-T)		※B種 ・	※B種 ・ A種	・ウレタン樹脂ワニス塗り(U)		※B種 ・ A種	※B種 ・ A種	・ラッカーエナメル塗り(LE)		※B種 ・ A種	※B種 ・ A種	・オイルステイン塗り(OS)		※B種 ・ A種	※B種 ・ A種	・木部保護塗料塗り(WP)		※B種 ・ A種	※B種 ・ A種	<p>工事名 東蟹谷公民館外壁等改修工事</p> <p>図名 改修特記仕様書(1)</p>	<p>設計 一級建築士 大臣登録 第333515号 可部谷 晶子</p> <p>検図 一級建築士 大臣登録 第108041号 可部谷 一成</p> <p>縮尺 A2: 1/100</p> <p>月日 令和2年4月 日</p> <p>Tel: 0766-68-1785</p>	<p>株式会社 可部谷建築事務所</p> <p>一級建築士事務所富山県知事登録第(1)2074号</p> <p>管理建築士 一級建築士 大臣登録第108041号 可部谷 一成</p> <p>No. A-02</p>
下地面の種類	下地調整の種類		ひび割れ部の補修(補修方法等は図示)																																																																																																																																																																																								
	塗替え	新規																																																																																																																																																																																									
木部	※R種 ・	・RA種 ・RB種																																																																																																																																																																																									
鉄鋼面	※R種 ・	※RA種																																																																																																																																																																																									
亜鉛めっき面	※R種 ・	※RA種																																																																																																																																																																																									
亜鉛めっき面(鋼製建具)	※R種 ・	※RC種																																																																																																																																																																																									
モルタル面、プラスター面	※R種 ・	・RA種 ・RB種	・行う																																																																																																																																																																																								
			・行わない																																																																																																																																																																																								
コンクリート面(DP以外)、ALCパネル面	※R種 ・	※RA種	・行う																																																																																																																																																																																								
			・行わない																																																																																																																																																																																								
コンクリート面(DP)、押出成形セメント板		※RA種	・行う																																																																																																																																																																																								
			・行わない																																																																																																																																																																																								
せっこうボード面及びその他ボード面	※R種 ・	・RA種 ・RB種																																																																																																																																																																																									
塗装面	塗料		工程																																																																																																																																																																																								
	塗替え	新規																																																																																																																																																																																									
鉄鋼面	EP-G以外	塗替え ※A種	※C種 ・																																																																																																																																																																																								
		新規鉄鋼面見え掛り ※A種	※A種 ・																																																																																																																																																																																								
		新規見え隠れ ※A種	※B種 ・																																																																																																																																																																																								
		塗替え ※B種	※C種 ・																																																																																																																																																																																								
EP-G	塗替え ※B種	※B種	※A種 ・																																																																																																																																																																																								
	新規鉄鋼面見え掛り ※B種	※A種 ・																																																																																																																																																																																									
	新規見え隠れ ※B種	※B種	※C種 ・																																																																																																																																																																																								
	塗替え ※B種	※B種	※C種 ・																																																																																																																																																																																								
亜鉛めっき面	EP-G以外	塗替え ※A種 ・ B種	※C種 ・																																																																																																																																																																																								
		新規鉄鋼面見え掛り ※A種 ・ B種	※A種 ・																																																																																																																																																																																								
		塗替え ※A種 ・ B種	※C種 ・																																																																																																																																																																																								
		新規鉄鋼面見え掛り ※A種 ・ B種	※A種 ・																																																																																																																																																																																								
EP-G	塗替え ※C種	※C種	※C種 ・																																																																																																																																																																																								
	新規鉄鋼面見え掛り ※C種	※A種 ・																																																																																																																																																																																									
塗装の種類	塗装面	工程																																																																																																																																																																																									
		塗替え	新規																																																																																																																																																																																								
・合成樹脂調合ペイント塗り(SOP)	木部屋外	※B種 ・	※A種																																																																																																																																																																																								
	木部屋内	※B種 ・	※B種																																																																																																																																																																																								
	鉄鋼面	※B種 ・	※B種 ・ A種																																																																																																																																																																																								
	亜鉛めっき面(鋼製建具)	※A種 ・	※B種																																																																																																																																																																																								
・クリヤラッカー塗り(L)	亜鉛めっき面(鋼製建具以外)	※B種 ・	※B種																																																																																																																																																																																								
		※B種 ・ A種	※B種 ・ A種																																																																																																																																																																																								
・フタル酸樹脂エナメル塗り(FE)		※B種 ・ A種	※B種 ・ A種																																																																																																																																																																																								
・アクリル樹脂非水分散型塗料塗り(MAD)		※B種 ・ A種	※B種 ・ A種																																																																																																																																																																																								
○耐酸塗料塗り(DP)	鉄鋼面	上塗り等級( )級	※A種																																																																																																																																																																																								
	亜鉛めっき面	上塗り等級( )級	※A種																																																																																																																																																																																								
○つや合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP-G)	コケリ面及び押出成形材の板面	※B種 ・	※B種 ・ A種																																																																																																																																																																																								
	コケリ面等	※B種 ・	※A種																																																																																																																																																																																								
	屋内の木部	※B種 ・	※A種																																																																																																																																																																																								
	屋内の鉄鋼面	※B種 ・	※B種 ・ A種																																																																																																																																																																																								
	屋内の亜鉛めっき面	※B種 ・	※B種 ・ A種																																																																																																																																																																																								
・合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP)		※B種 ・	※B種																																																																																																																																																																																								
・合成樹脂エマルジョン機種塗料塗り(EP-T)		※B種 ・	※B種 ・ A種																																																																																																																																																																																								
・ウレタン樹脂ワニス塗り(U)		※B種 ・ A種	※B種 ・ A種																																																																																																																																																																																								
・ラッカーエナメル塗り(LE)		※B種 ・ A種	※B種 ・ A種																																																																																																																																																																																								
・オイルステイン塗り(OS)		※B種 ・ A種	※B種 ・ A種																																																																																																																																																																																								
・木部保護塗料塗り(WP)		※B種 ・ A種	※B種 ・ A種																																																																																																																																																																																								

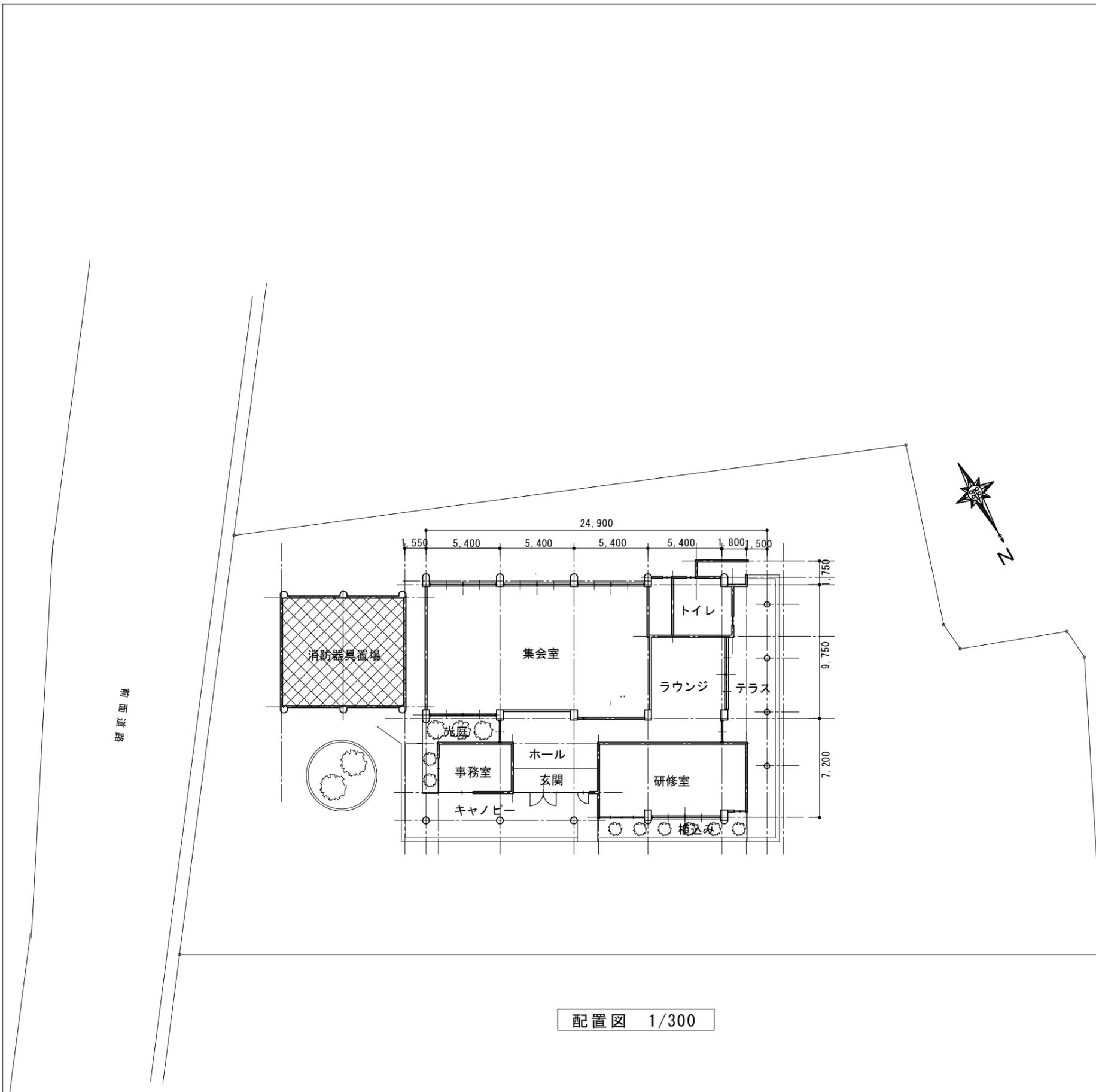
① アスファルト防水
② 改質アスファルト防水
③ 合成高分子系ルーフィングシート防水
④ 塗膜防水

⑤ シーリング
⑥ とい
⑦ アルミニウム製止水
⑧ 外壁改修工事
⑨ 外壁改修工事
⑩ 改修使用材料

⑪ ひび割れ部改修工事
⑫ コンクリート打放し仕上げ外壁改修工事
⑬ 欠損部改修工事
⑭ 既存モルタル剥離の撤去
⑮ ひび割れ部改修工事
⑯ 欠損部改修工事
⑰ 欠損部改修工事
⑱ 欠損部改修工事
⑲ 欠損部改修工事
⑳ 欠損部改修工事

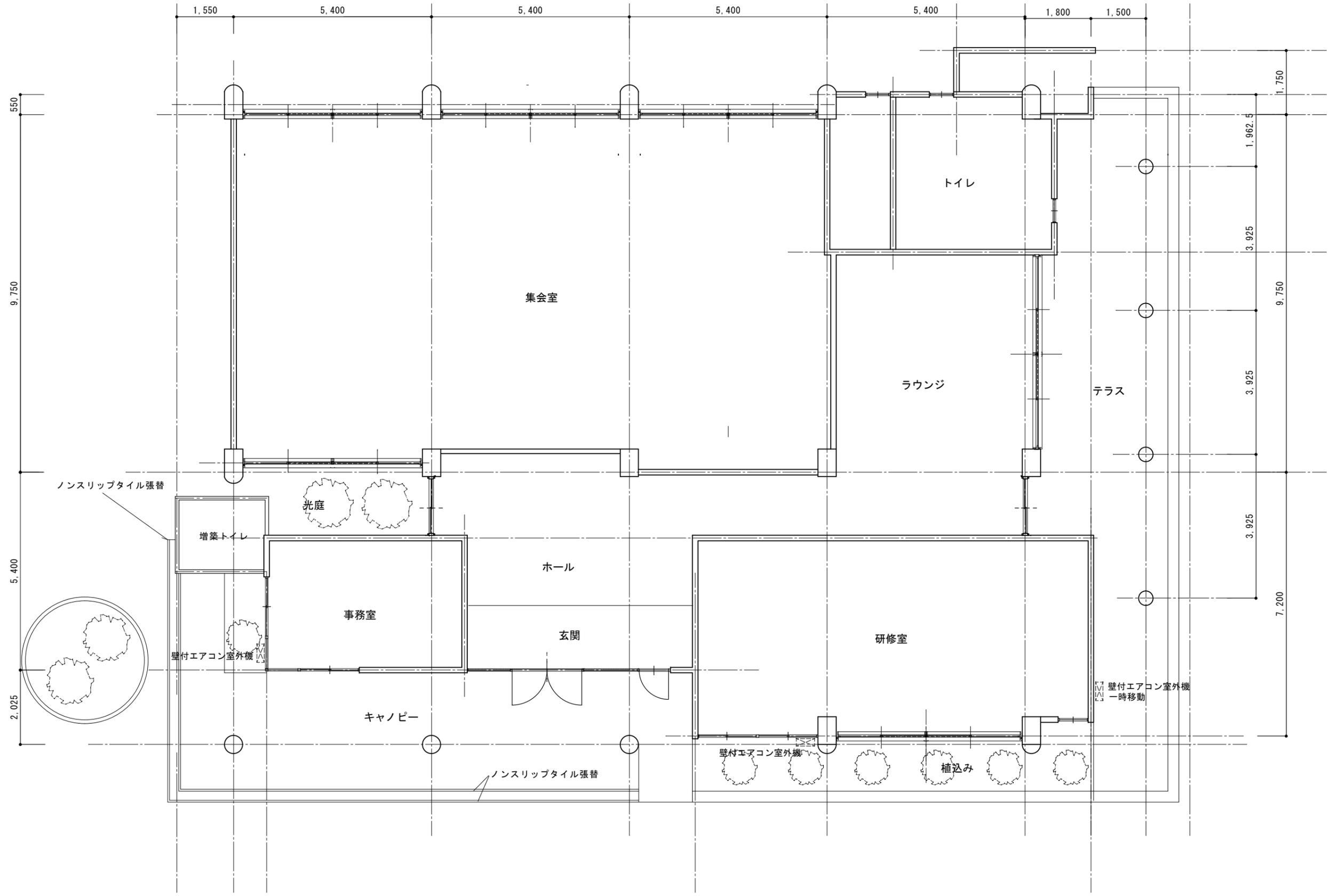
4-4 タイル張り仕上げ外壁改修工事
3 欠損部改修工事
4 浮き部改修工事
5 タイルの形状、寸法等
6 目地改修工事
⑭ 既存塗膜等の除去及び下地処理
⑮ 下地調整
⑯ 仕上げ塗材仕上げ
4 マスチック塗材仕上げ

特記
工事名 東鯉谷公民館外壁等改修工事
設計 一級建築士 大臣登録 第333515号 可部谷 晶子
校閲 一級建築士 大臣登録 第108041号 可部谷 一成
株式会社 可部谷建築事務所
一級建築士事務所富山県知事登録第(1)2074号
管理建築士 一級建築士 大臣登録第108041号 可部谷 一成
No. A-03

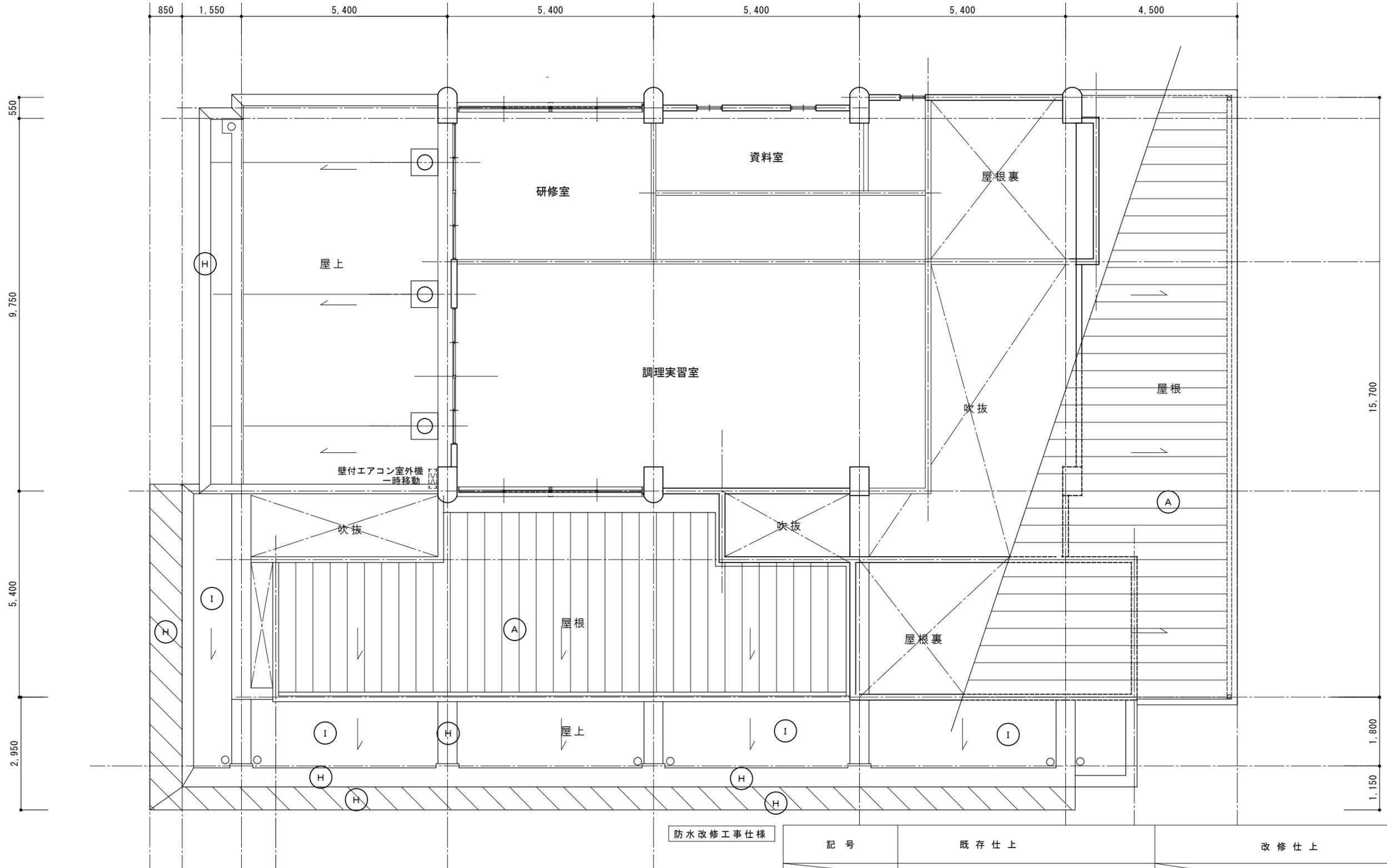


配置図 1/300

改修工事概要			
I 工事概要			
1. 施設名称	小矢部市立東蟹谷公民館		
2. 工事場所	建築主	小矢部市長 桜井 森夫	
	建築主住所	小矢部市本町1-1	
	建築場所	小矢部市藤森地内	
	用途地域	無指定	
3. 敷地面積	1階	2階	合計
4. 建築面積			2000.00 m <sup>2</sup>
5. 延面積	347.24 m <sup>2</sup>	103.19 m <sup>2</sup>	450.43 m <sup>2</sup>
7. 工事範囲 (*2カ年に分けて施工)	1. 鋼板屋根防水改修工事 1年目		
	2. 屋上防水改修工事 (笠木 庇含む) 1年目		
	3. 外壁改修工事 (南面 1年目) (北 東 西面 2年目)		
	4. その他工事 玄関 ノンスリップタイル張替 2年目		
1. 鋼板屋根防水改修工事 大屋根 1階屋根 (その1)	既設	高圧洗浄	雪止アングルは付替え
	仕上げ	瓦棟 けらば	軒先とも OD防錆コート塗り
	取合い	コーキング	
2. 屋上防水改修工事 (笠木) (その1)	平部 立上り	既設	高圧洗浄
	下地	欠損部補修	
	仕上げ	改質アスファルトシート防水	保証期間 ※ 10年
	端末	アルミアングル取付け	
		ドレン改修取付け	
	笠木部		
	モルタル浮き部撤去	樹脂モルタル補修	
	モルタル	ノロ引き	
	仕上げ	ウレタン塗膜防水	
3. 外壁等改修工事	工事に先立ち、壁面の劣化状況、モルタルのクラック、浮き具合を写真を用いて確認し報告書を作成する。		
	外壁のクラック、浮き、欠損等の改修は、建築改修工事共通仕様書に基づき下記の工法により施工する。		
	工事の各工法の採用面積、長さ等は 調査の工事範囲確定後係員と協議するものとする。		
	サッシ、バンドキャップ廻り 打継部 コーキング打替え 変性シリコン		
	鉄筋発錆部 クラック等補修		
	高圧洗浄		
	下地調整 ポリマーセメント		
	仕上げ アロンウォール防水吹付け アクリルシリコン仕上げ (巾木 花壇も含む)		
	キャノピー天井 ボード部撤去の上G鋼板スバンドレル貼 照明器具 入替		
	テラス天井 既設ボード部補修の上 EPヌリ		
鉄部 錆止めの上 耐候性塗料(DPヌリ)			
玄関 ノンスリップタイル張替			



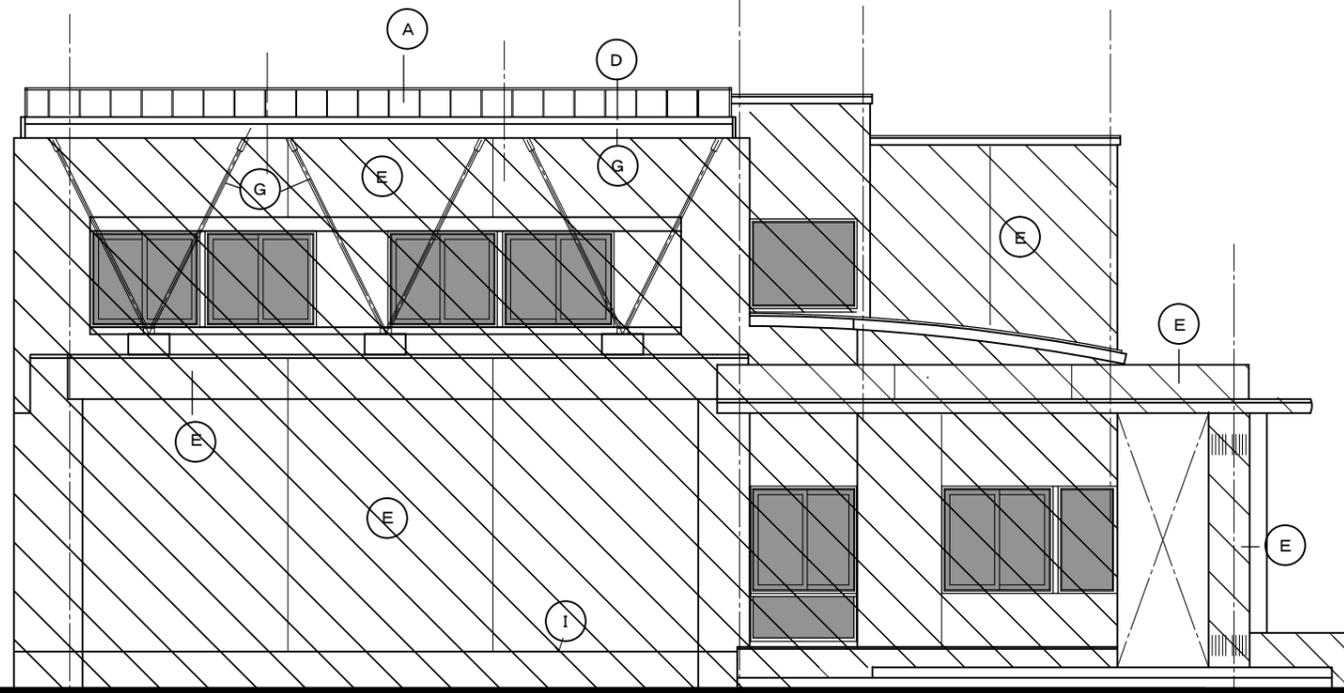
特記事項	工事名	東蟹谷公民館外壁等改修工事	設計	一級建築士 大臣登録 第333515号 可部谷 晶子	検図	一級建築士 大臣登録 第108041号 可部谷 一成	株式会社 可部谷建築事務所 一級建築士事務所 富山県知事登録第(1)2074号 管理建築士 一級建築士 大臣登録第108041号 可部谷 一成	No. A - 05
	図名	1階 平面図	縮尺	A2 : 1/100	月日	令和2年4月 日 Tel 0766-68-1785		



斜線部 改修範囲

防水改修工事仕様

記号	既存仕上	改修仕上
A		
H	モルタル金ゴテ APカーリーア-仕上	樹脂モルタル補修の上 ウレタン塗膜防水
I		



記号	既存仕上	改修仕上
(E)	コンクリート打放し APカーキア仕上	アロンウォール吹付け (下地処理)
(F)	木付型枠コンクリート打放し APカーキア仕上	アロンウォール吹付け (下地処理)
(G)	珪酸樹脂系錆止の上フッ素樹脂塗装	錆止の上耐候性塗料(DPヌリ)
(H)	珪酸金ゴテ仕上げ APカーキア仕上	ウレタン塗膜防水 アロンコート SQ
(I)		サッシ廻りコーキング打替え 変性シリコン 打ち次目地コーキング打替え

東立面図

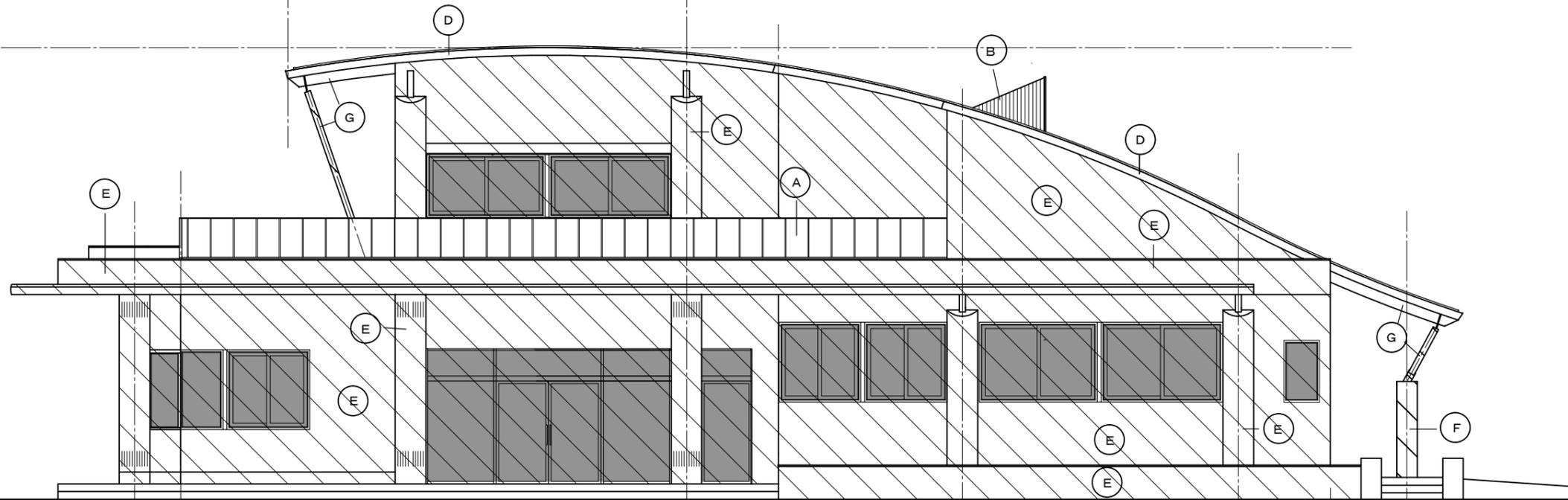
9,750

7,200

斜線部 改修範囲

\* 空調室外機は移動 電気配管 冷媒配管は養生テープで施工 (室外機は2台)

4,626  
3,645  
555



北立面図

5,400

5,400

5,400

5,400

1,800

1,500

特記事項

工事名 東蟹谷公民館外壁等改修工事

図名 東北立面図

設計 一級建築士 大臣登録 第333515号  
可部谷 晶子

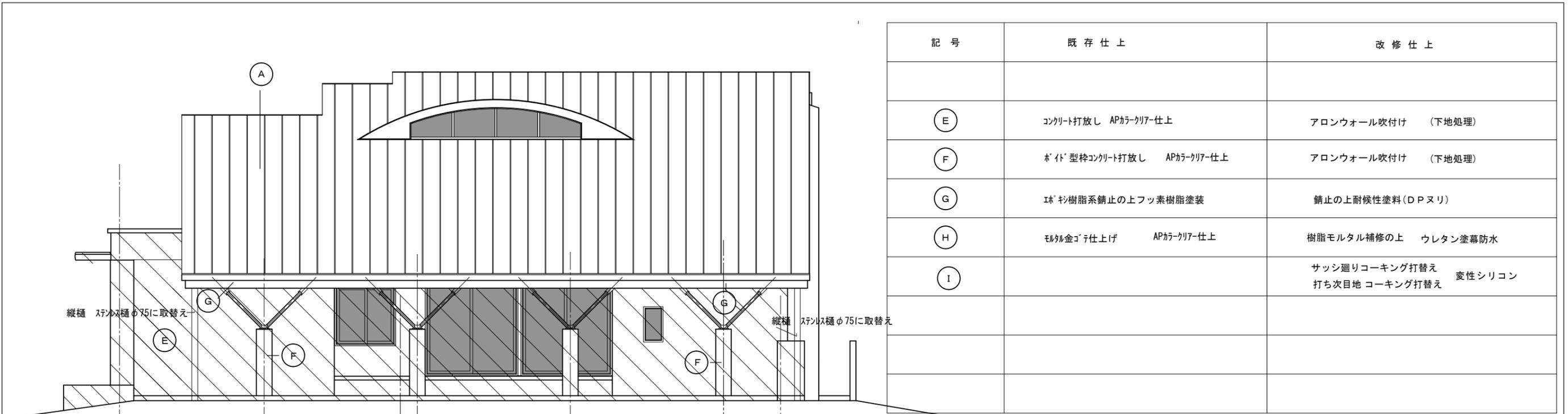
縮尺 A2 : 1/100

検図 一級建築士 大臣登録 第108041号  
可部谷 一成

月日 令和2年4月 日  
Tel 0766-68-1785

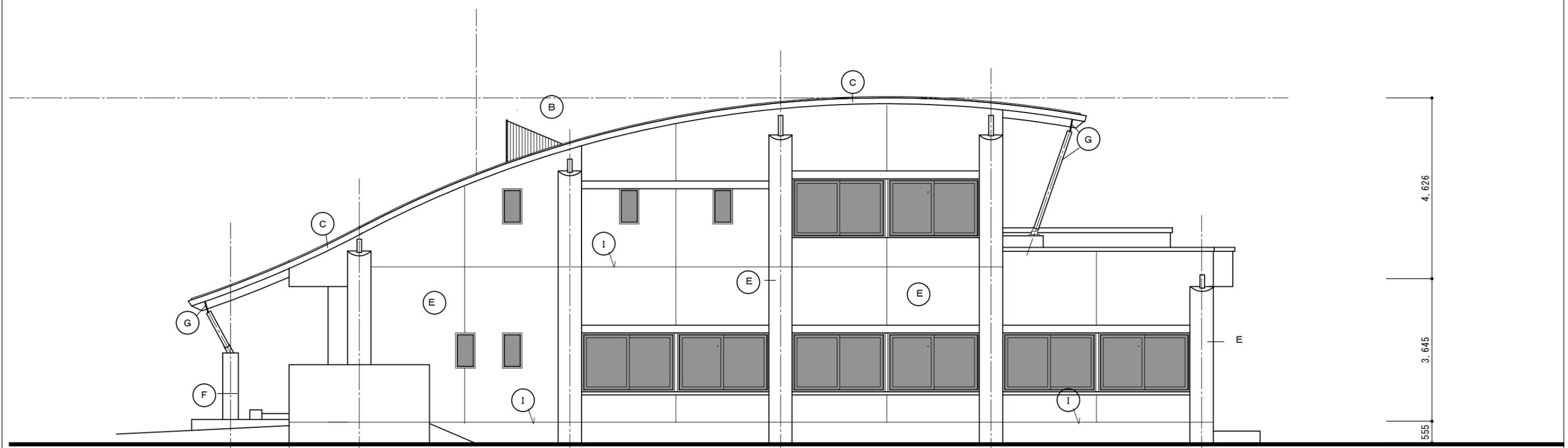
株式会社 可部谷建築事務所  
一級建築士事務所富山県知事登録第(1)2074号  
管理建築士 一級建築士 大臣登録第108041号 可部谷 一成

No. A-07

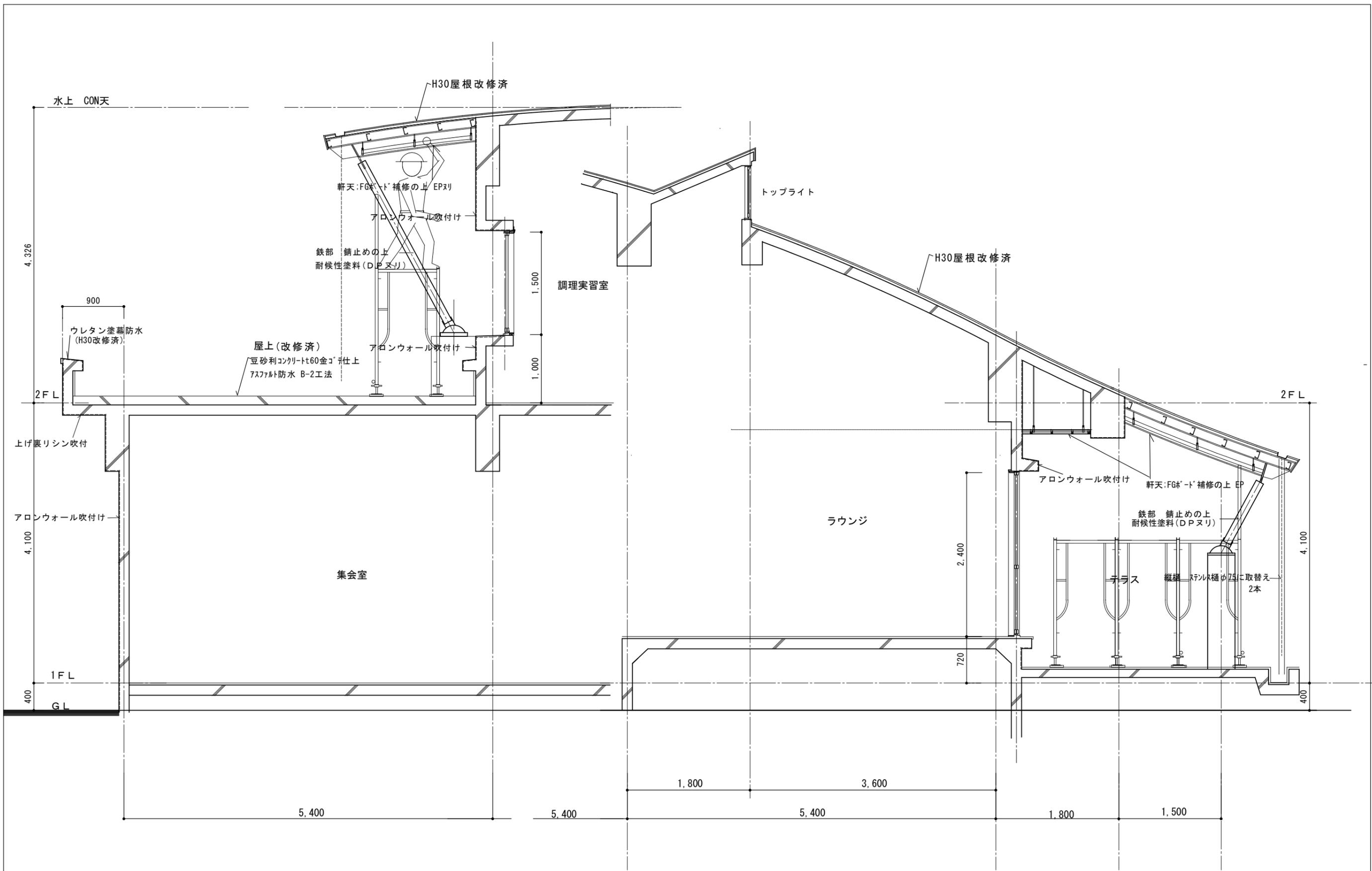


記号	既存仕上	改修仕上
(E)	コンクリート打放し APカーキア-仕上	アロンウォール吹付け (下地処理)
(F)	ボイド型枠コンクリート打放し APカーキア-仕上	アロンウォール吹付け (下地処理)
(G)	珪酸樹脂系錆止の上フッ素樹脂塗装	錆止の上耐候性塗料(DPヌリ)
(H)	モルタル金ゴ-仕上げ APカーキア-仕上	樹脂モルタル補修の上 ウレタン塗膜防水
(I)		サッシ廻りコーキング打替え 変性シリコン 打ち次目地コーキング打替え

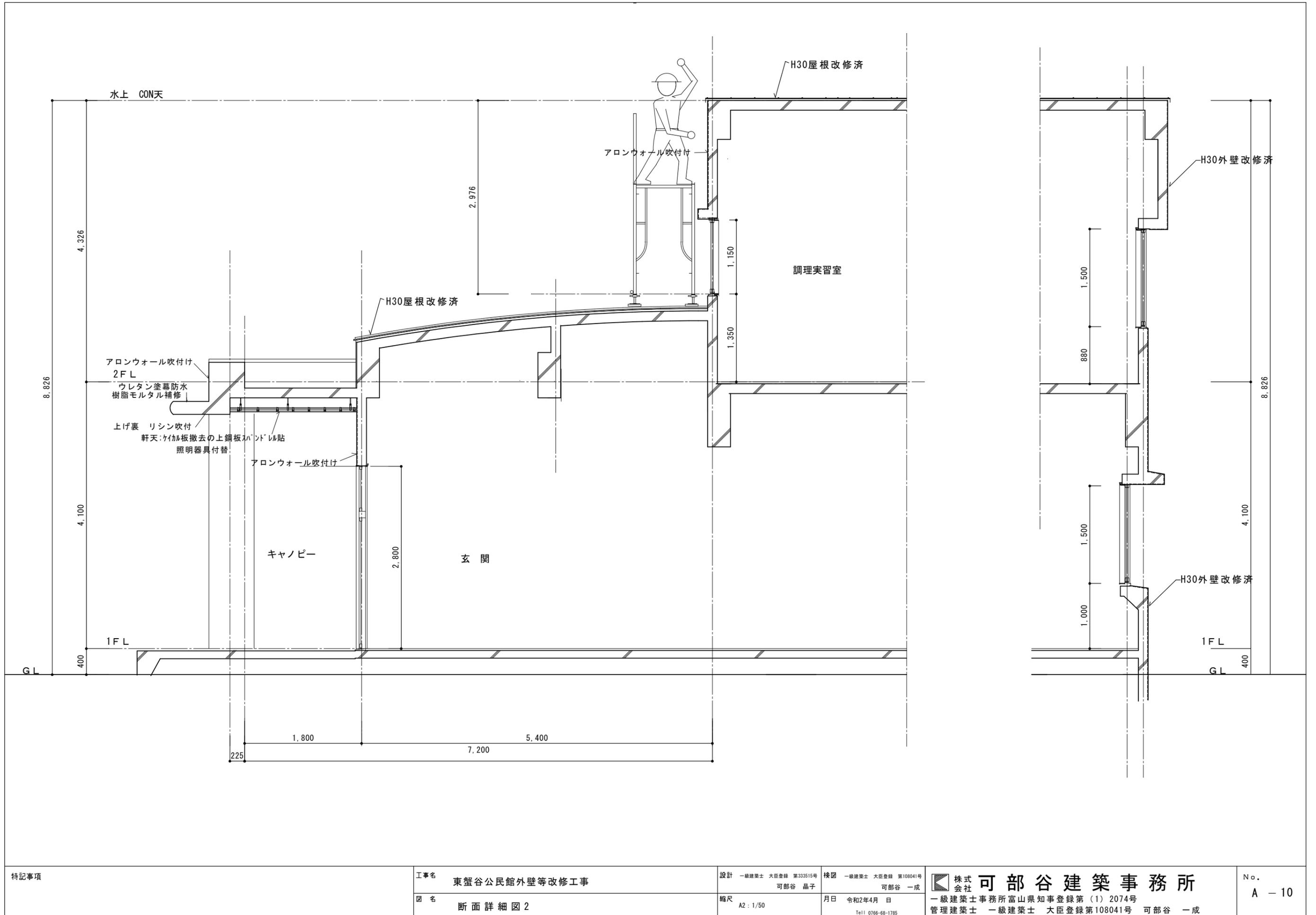
西立面図 7,200 9,750 斜線部 改修範囲



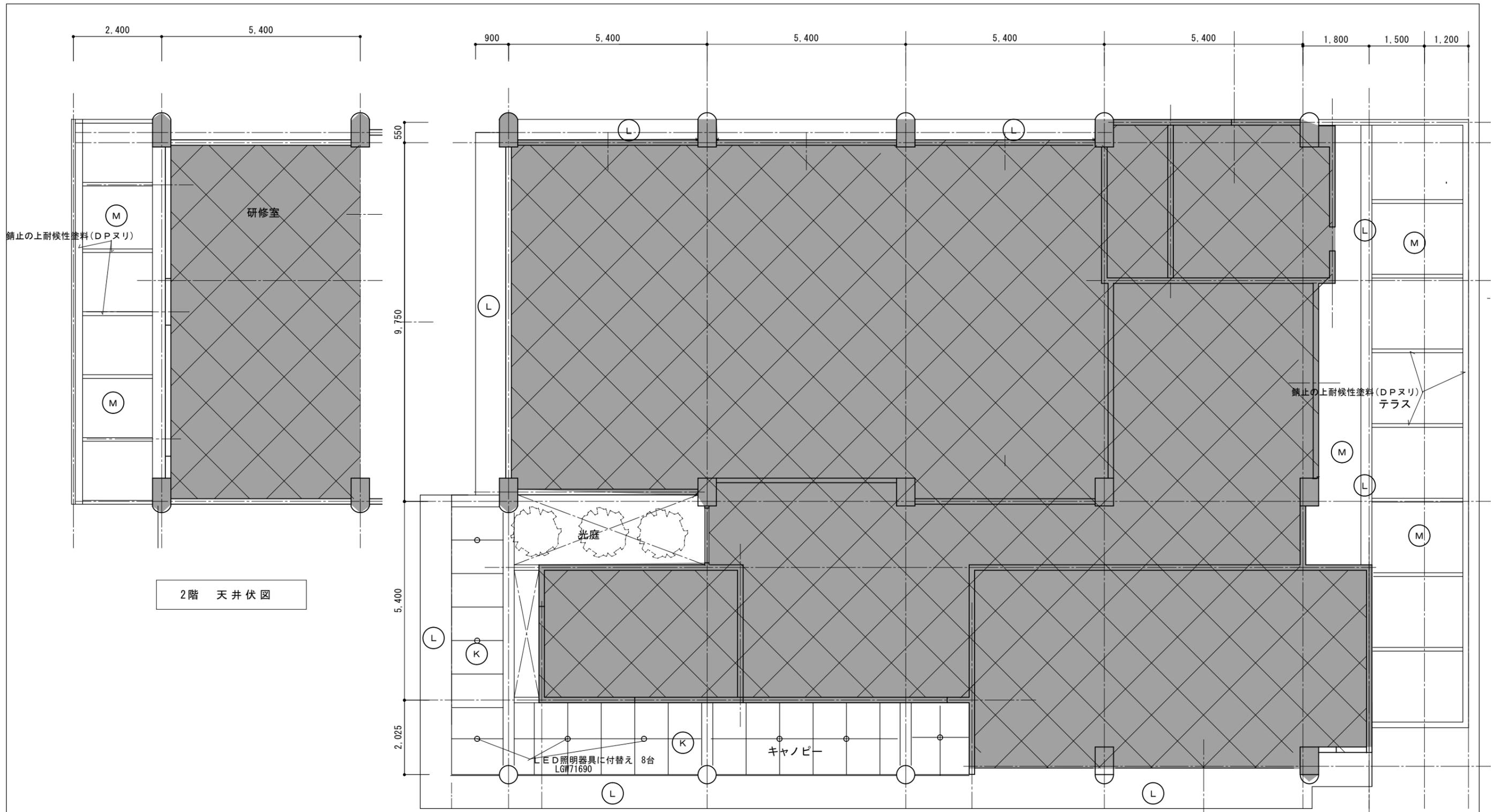
南立面図



特記事項	工事名	東蟹谷公民館外壁等改修工事	設計	一級建築士 大臣登録 第333515号 可部谷 晶子	検図	一級建築士 大臣登録 第108041号 可部谷 一成	株式会社 可部谷建築事務所 一級建築士事務所富山県知事登録第(1)2074号 管理建築士 一級建築士 大臣登録第108041号 可部谷 一成	No. A - 09
	図名	断面詳細図 1	縮尺	A2 : 1/50	月日	令和2年4月 日 Tel: 0766-68-1785		



特記事項	工事名	東蟹谷公民館外壁等改修工事	設計	一級建築士 大臣登録 第333515号 可部谷 晶子	検図	一級建築士 大臣登録 第108041号 可部谷 一成	 <b>株式会社 可部谷建築事務所</b> 一級建築士事務所 富山県知事登録第(1)2074号 管理建築士 一級建築士 大臣登録第108041号 可部谷 一成	No. A - 10
	図名	断面詳細図2	縮尺	A2 : 1/50	月日	令和2年4月 日 Tell 0766-68-1785		



2階 天井伏図

1階 天井伏図

天井埋込型ダウンライト  
パナソニック LGW71690

外部天井改修仕様

記号	改修仕上
(K)	ボード部撤去の上 G L 鋼板スパンデル貼リ
(L)	上げ裏 アクリル系リシン吹付け
(M)	既設ボード部補修の上 EPヌリ